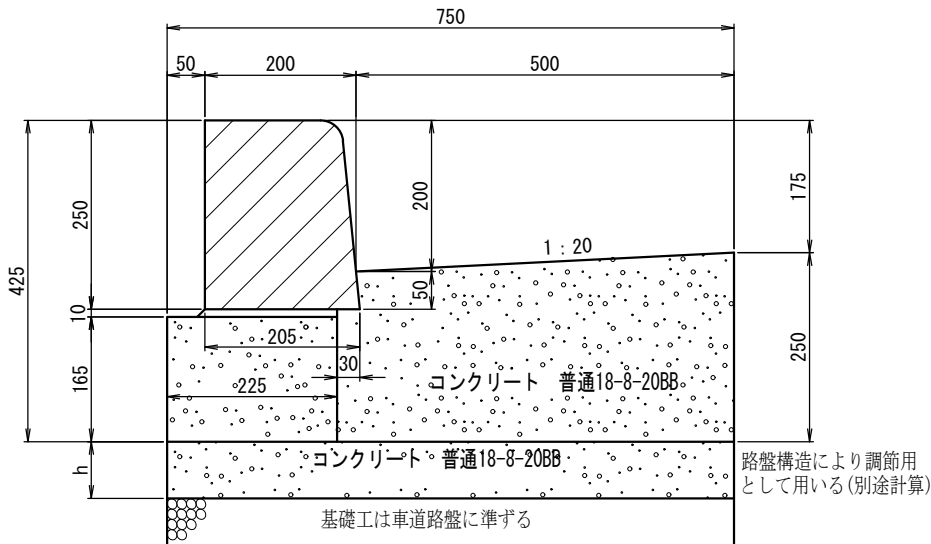


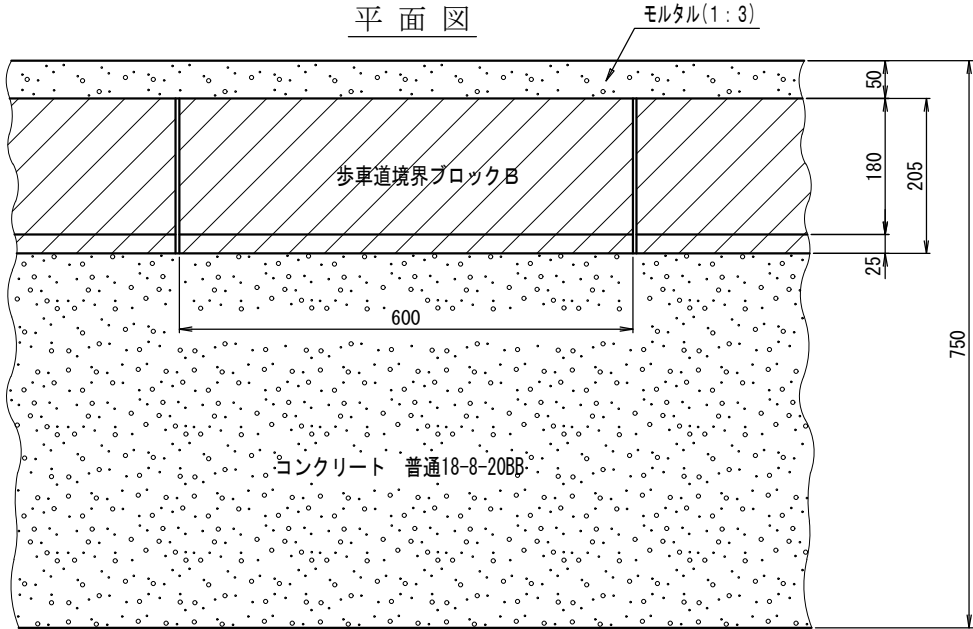
工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工	205型	h	2025

街きょ工(205型) S=1/10
(補修用)

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

(100m当り)

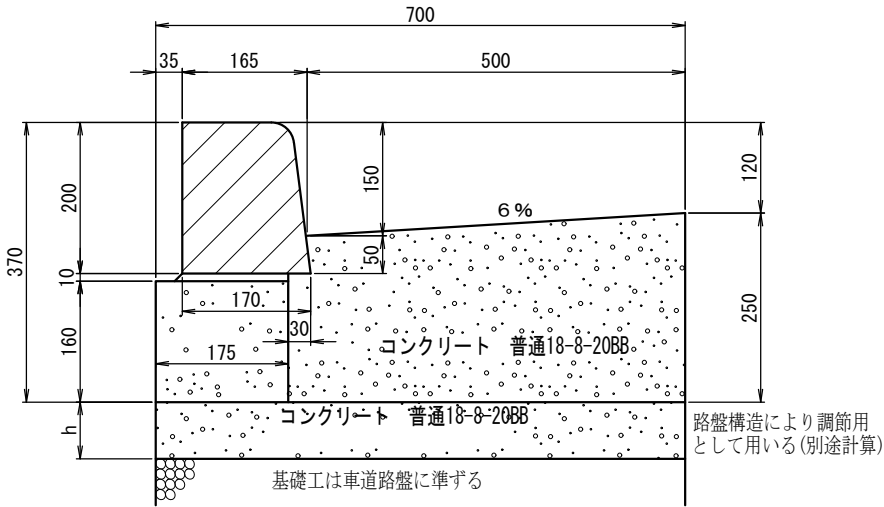
品 名	形状寸法	数 量	単位	摘 要
コンクリート	普通18-8-20BB	16.0	m ³	
歩車道境界ブロックB	180×250×600	165.0	本	69 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	0.1	m ³	敷モルタル用
型 枠		58.0	m ²	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

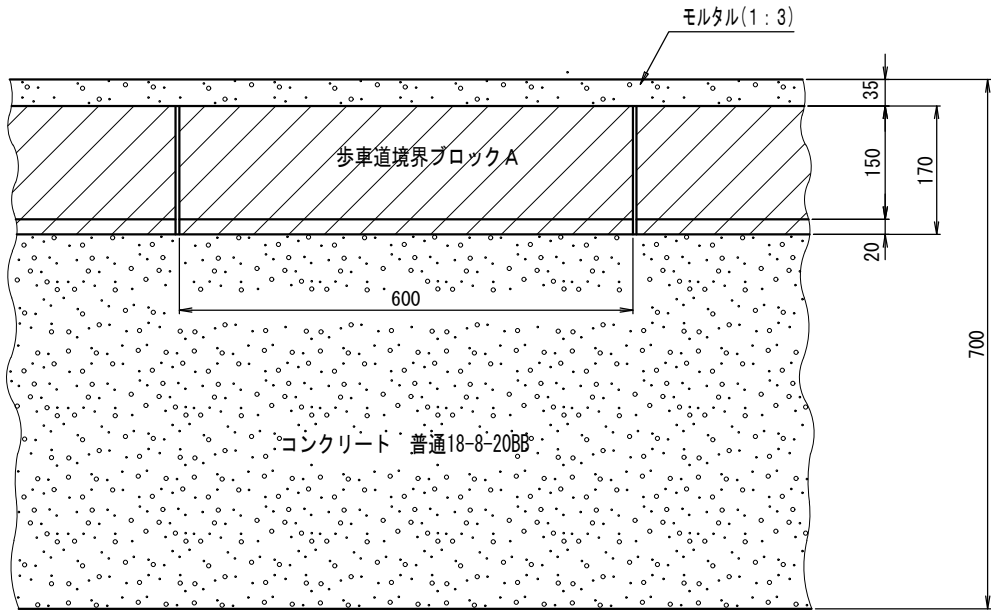
工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工	155型	h	2025

街きょ工(155型) S=1/10

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

(100m当り)

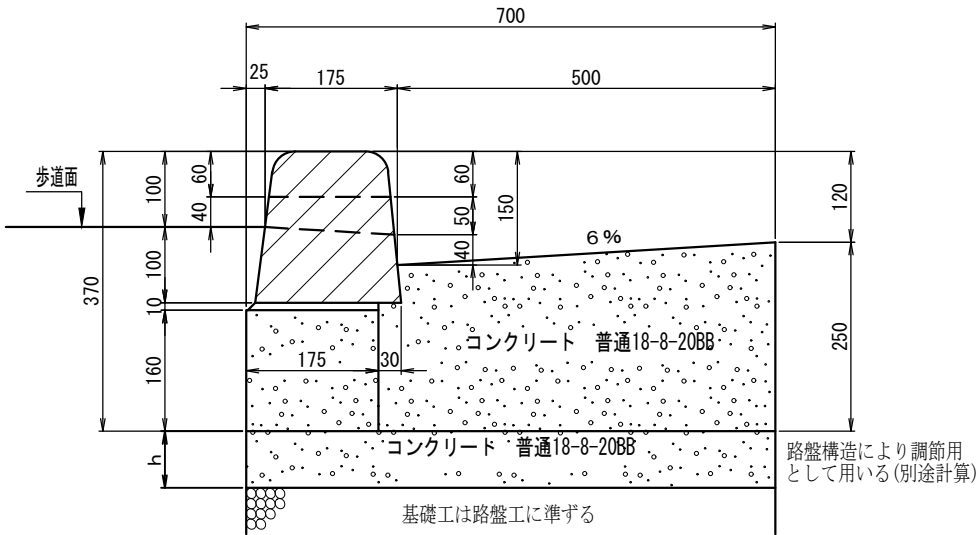
品 名	形状寸法	数 量	単位	摘 要
コンクリート	普通18-8-20BB	15.0	m ³	
歩車道境界ブロックA	150×200×600	165.0	本	45 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	0.1	m ³	敷モルタル用
型 枠		57.0	m ²	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

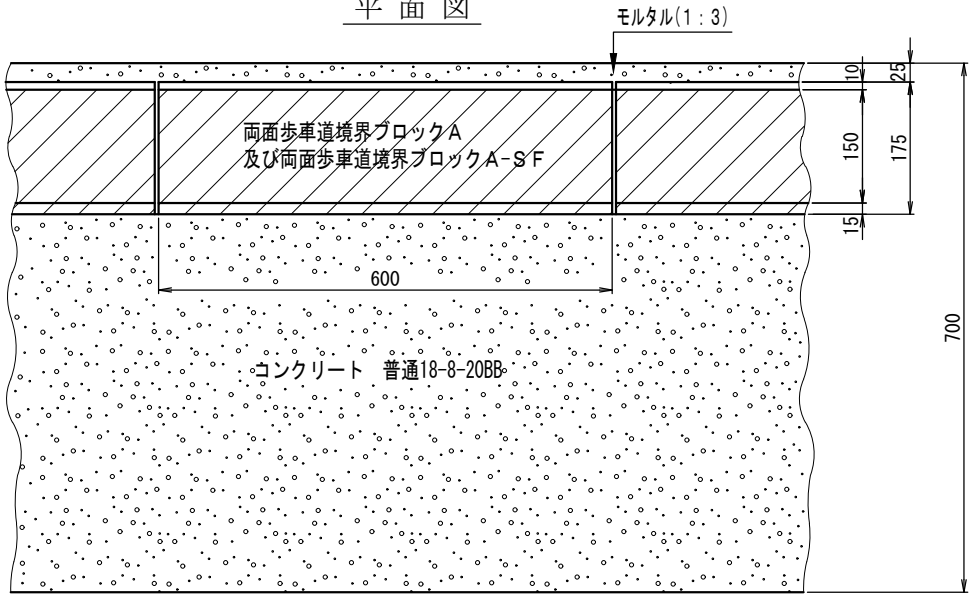
工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工	155SF型	h	2025

街きょ工(155SF型) S=1/10

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

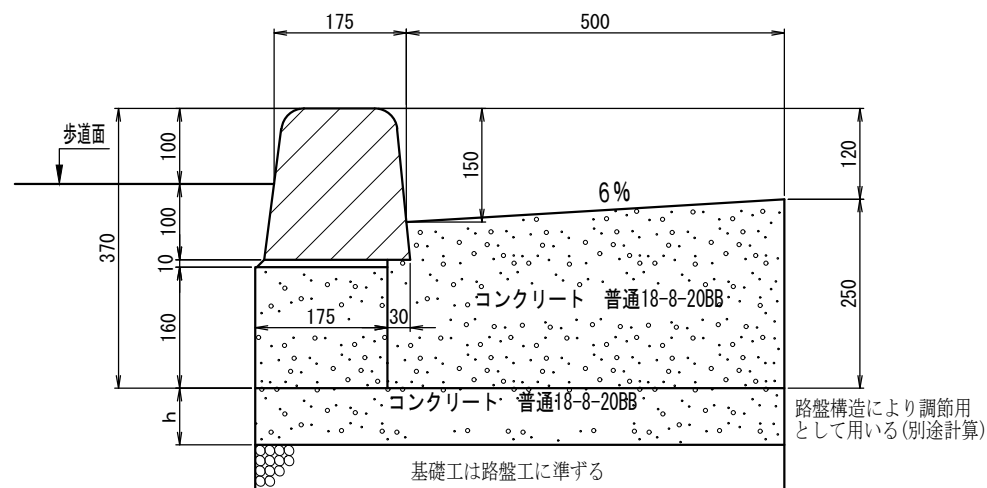
(100m当り)				
品 名	形状寸法	単位	数 量	備 考
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	15.0	
両面歩車道境界ブロックA	150/190×200×600	本	83.0	49 kg/個
両面歩車道境界ブロックA-SF	150/190×200×600 (水抜き)	本	82.0	37 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.2	
型 枠		m ²	57.0	

(注) 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

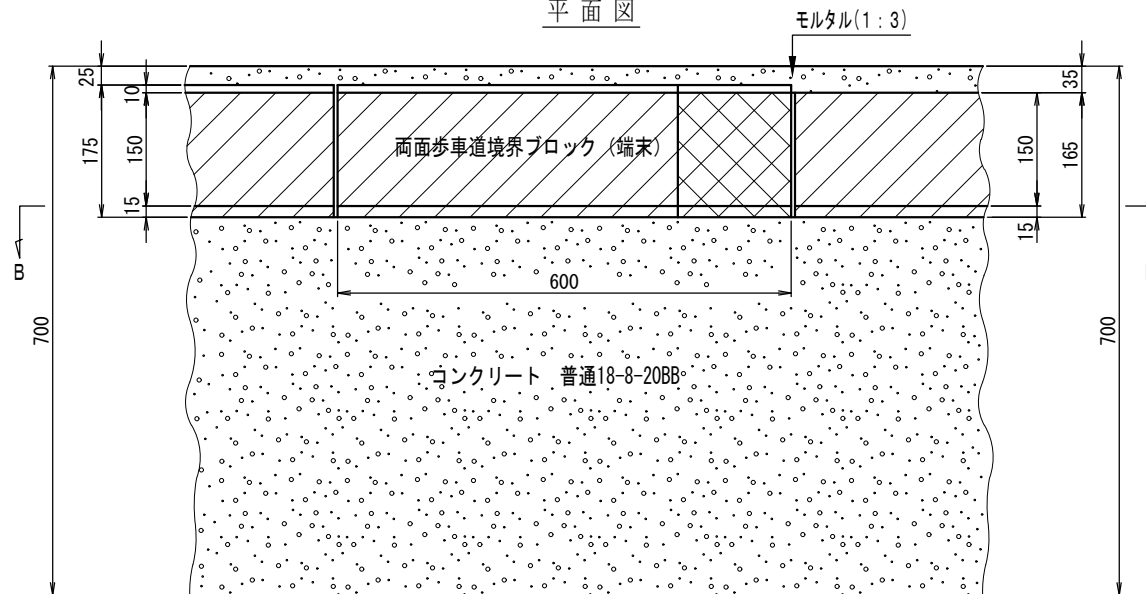
街きょ工(155SF型)端末 S=1/10

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工	155SF型 端 末	h	2025

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

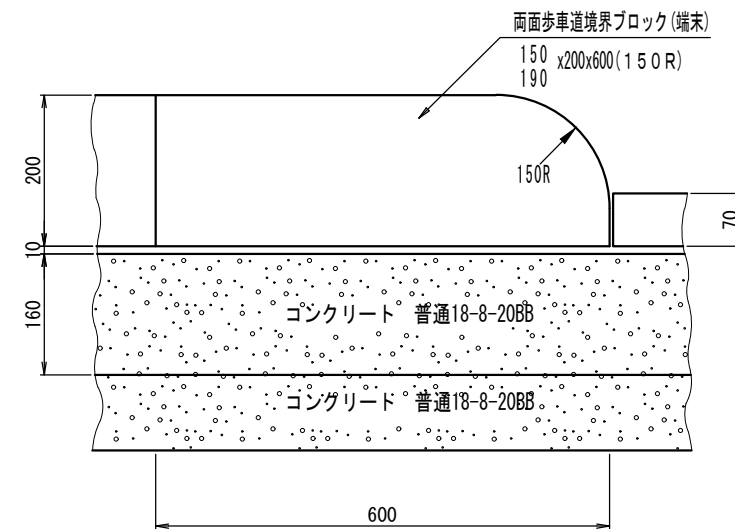
(100箇所当たり)

品 名	形状寸法	数 量	単位	摘 要
コンクリート	普通18-8-20BB	18.0	m ³	
両面歩車道境界ブロック(端末)	150 190×200×600(R150)	200.0	本	44 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	0.2	m ³	
型 枠		68.4	m ²	

(注1) 本材料表は、すりつけ部両側の数量である。

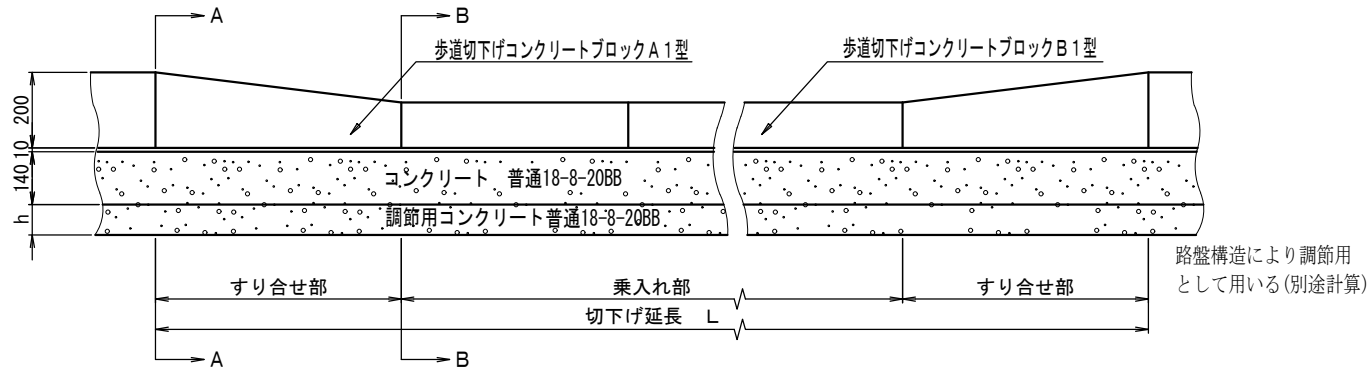
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

B-B断面図



街きょ工(155型 車乗入れ部) S=1/20
(補修用)

正面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

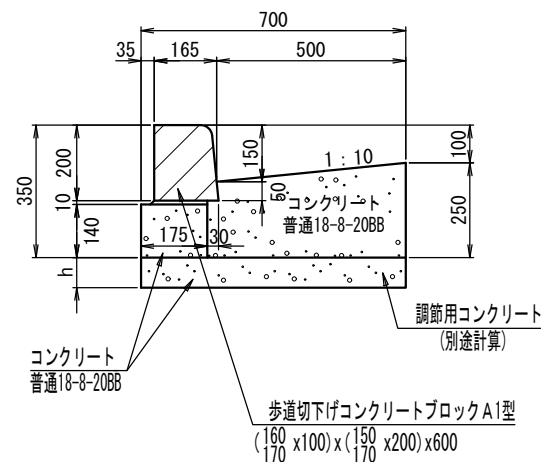
材料表

(100箇所当り)

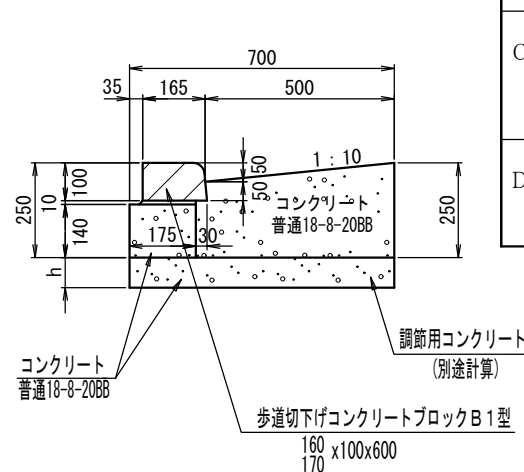
型式	切り下 延長	コンクリート 普通18-8-20BB	モルタル 1:3	型 枠	すり合せ ブロック A1型 (個)	乗入れ ブロック B1型 (個)	収容施設の種別 (参考)
T	L (cm)	(m ³)	(m ³)	(m ²)			
A型	303	42.6	0.4	160.6	200 (35kg/個)	300 (24kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	59.7	0.6	224.8	200 (35kg/個)	500 (24kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	76.7	0.8	289.1	200 (35kg/個)	700 (24kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t～4tトラック)
D型	727	102.3	1.1	385.5	200 (35kg/個)	1,000 (24kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

A-A 断面図



B-B 断面図

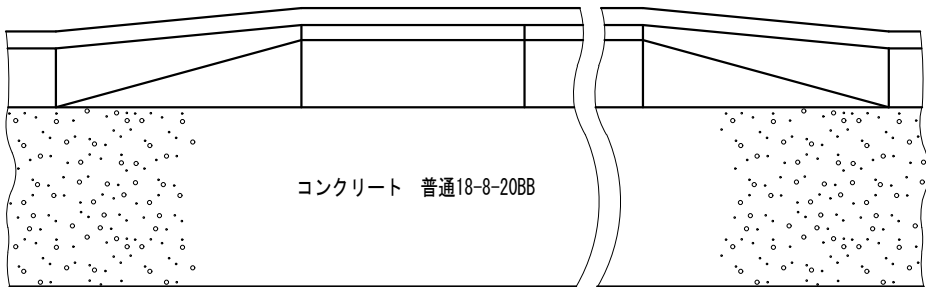
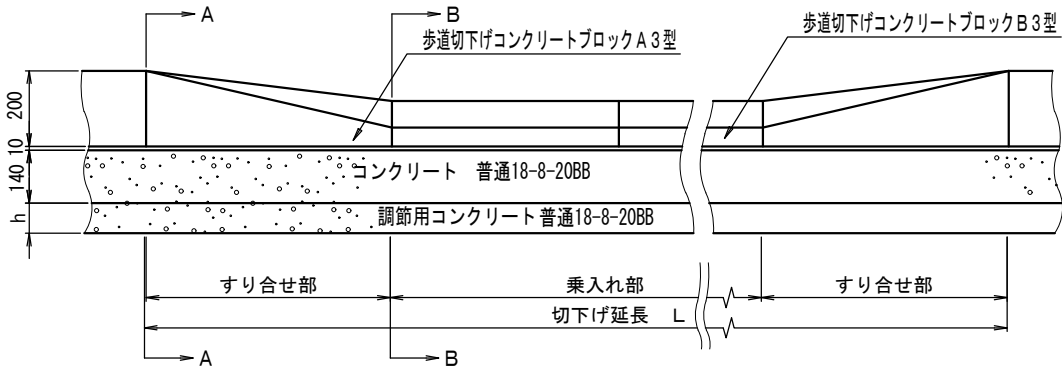


街きょ工（155－1型 車乗入れ部） S=1/20
（補修用）

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工 (車乗入れ部)	155-1型	T h	2025

正 面 図

平 面 図



（注） 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

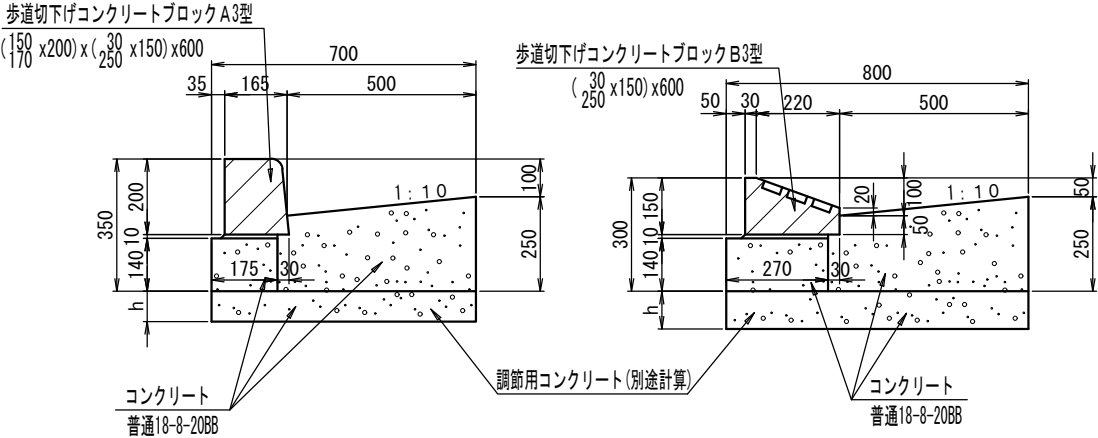
材 料 表

（100箇所当り）

型式	切り下 延 長	コンクリート 普通18-8-20BB	モルタル 1 : 3	型 枠	すり合せ ブロック A3型	乗入れ ブロック B3型	収容施設の種別 (参考)
T	L (cm)	(m ³)	(m ³)	(m ²)	個	個	
A型	303	46.1	0.6	160.6	200 (44kg/個)	300 (39kg/個)	軽自動車収容施設 (例 軽自動車)
B型	424	64.9	0.9	224.8	200 (44kg/個)	500 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	83.7	1.2	289.1	200 (44kg/個)	700 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t～4t トラック)
D型	727	111.8	1.6	385.5	200 (44kg/個)	1,000 (39kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

A-A 断面図

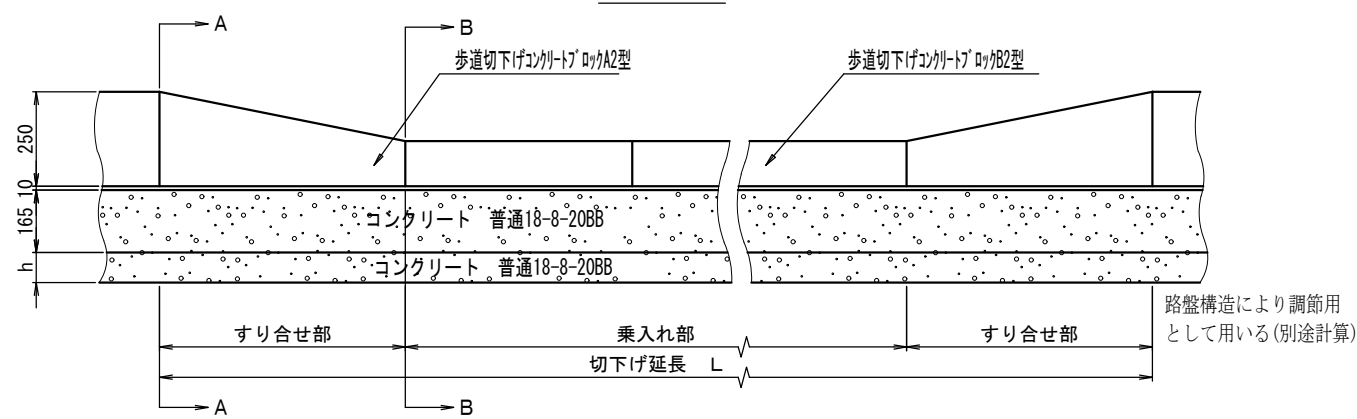
B-B 断面図



（注1） 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。
（注2） 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

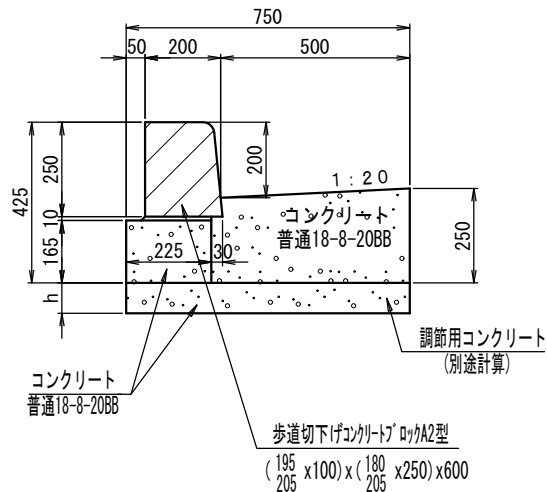
街きょ工(205型 車乗入れ部) S=1/20
(補修用)

正面図

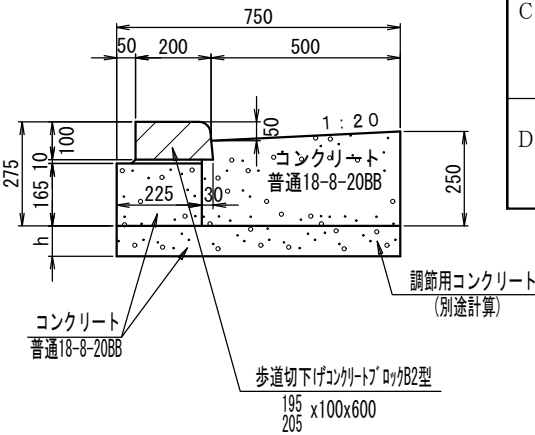


(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

A-A 断面図



B-B 断面図



材料表

(100箇所当り)

型式	切り下 延 長	コンクリート 普通18-8-20BB	モルタル 1 : 3	型 枠	すり合せ ブロック A 2 型 (個)	乗入れ ブロック B 2 型 (個)	収容施設の種別 (参考)
T	L (cm)	(m ³)	(m ³)	(m ²)			
A型	303	48.5	0.5	175.7	200 (43kg/個)	300 (28kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	67.5	0.8	246.0	200 (43kg/個)	500 (28kg/個)	小型自動車 (8の一部及 び4, 5, 6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	87.4	1.0	316.4	200 (43kg/個)	700 (28kg/個)	小型自動車 (8の一部及 び4, 5, 6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2 t ~ 4 t トラック)
D型	727	116.5	1.3	421.8	200 (43kg/個)	1,000 (28kg/個)	普通自動車 (3, 8の一部 及び1, 2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

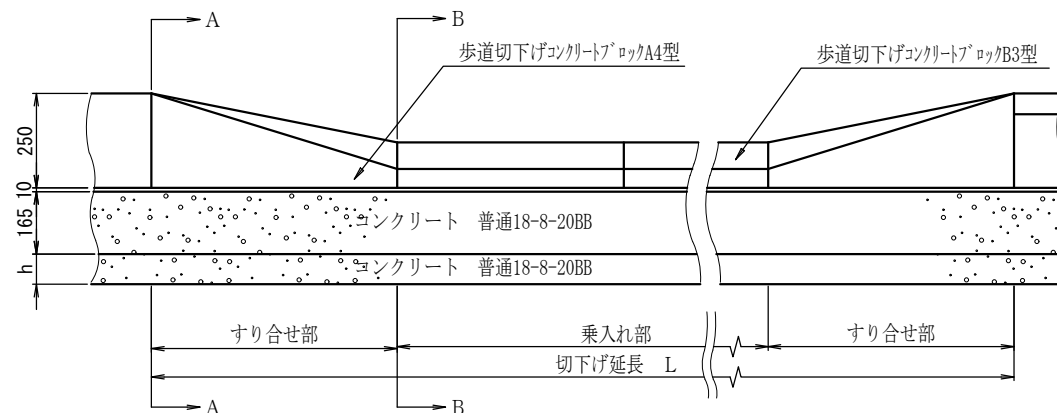
(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

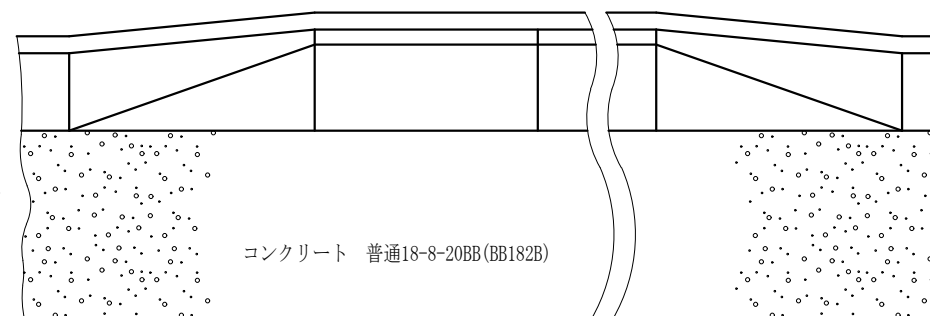
街きょ工(205-1型 車乗入れ部) S=1/20
(補修用)

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工 (車乗入れ部)	205-1型	T h	2025

正 面 図



平 面 図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

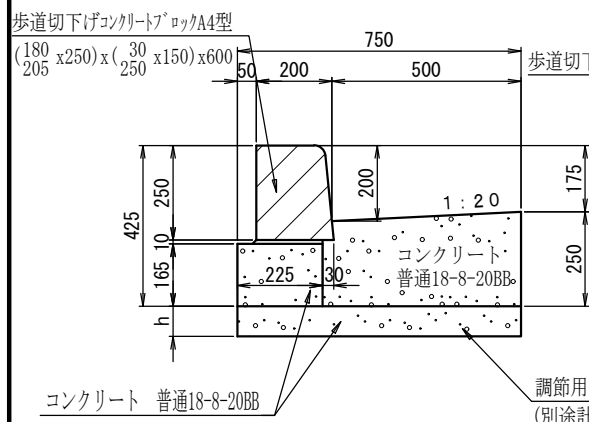
(100箇所当り)

型式	切り下 延 長	コンクリート 普通18-8-20BB	モルタル 1 : 3	型 枠	すり合せ ブロック A 4 型 (個)	乗入れ ブロック B 3 型 (個)	収容施設の種別 (参考)
T	L (cm)	(m ³)	(m ³)	(m ²)			
A型	303	50.6	0.6	175.7	200 (50kg/個)	300 (39kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	71.1	0.9	246.0	200 (50kg/個)	500 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4, 5, 6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	91.5	1.2	316.4	200 (50kg/個)	700 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4, 5, 6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道路 の狭い場合 (例 2 t ~ 4 t トラック)
D型	727	122.2	1.6	421.8	200 (50kg/個)	1,000 (39kg/個)	普通自動車 (3, 8の一部 及び1, 2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

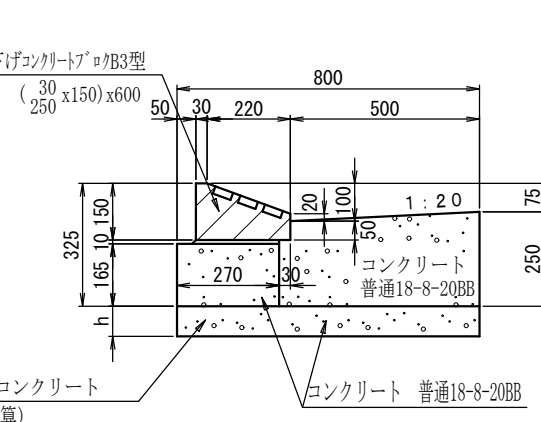
(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

A-A 断面図



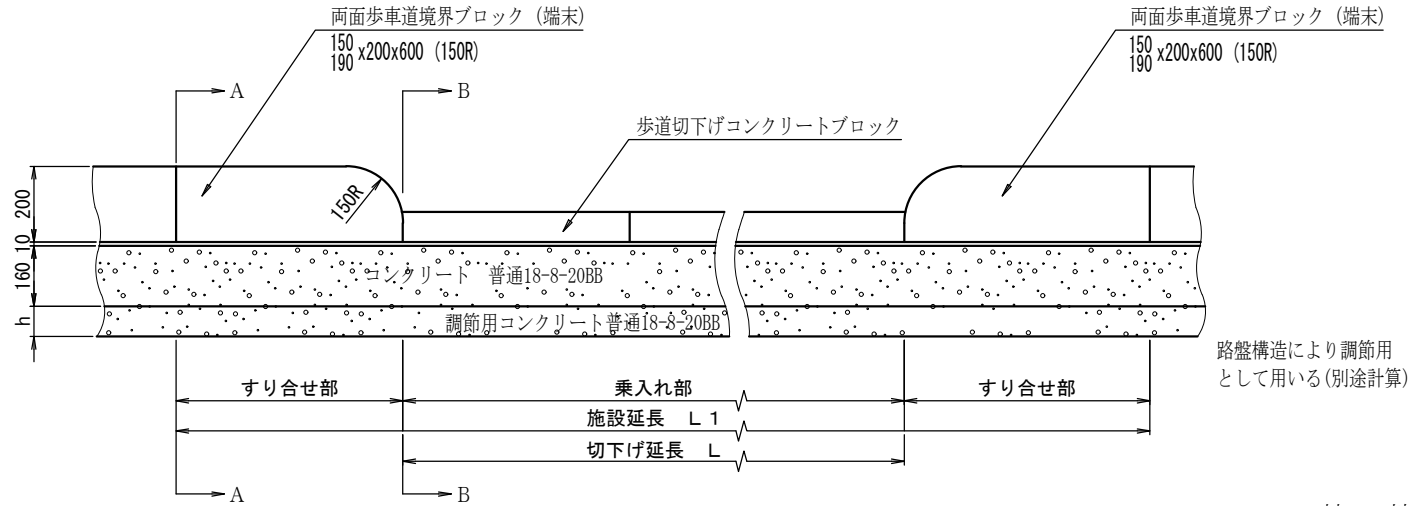
B-B 断面図



街きょ工(155SF型 車乗入れ部) S=1/20

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工 (車乗入れ部)	155 SF 型	T h	2025

正 面 図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

(100箇所当り)

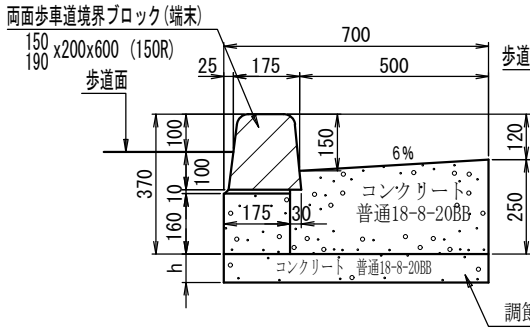
型式	切り下 延 長	施 設 延 長	コンクリート 普通18-8-20BB	モルタル 1 : 3	型 枠	両面歩車道 境界ブロック (端末)	乗入れ ブロック	収容施設の種別 (参考)
T	L (cm)	L 1 (cm)	(m ³)	(m ³)	(m ²)	(個)	(個)	
A型	303	424	63.4	0.7	241.7	200 (44kg/個)	500 (23kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	545	81.5	0.9	310.7	200 (44kg/個)	700 (23kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	666	99.7	1.1	379.6	200 (44kg/個)	900 (23kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	848	126.9	1.4	483.4	200 (44kg/個)	1,200 (23kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

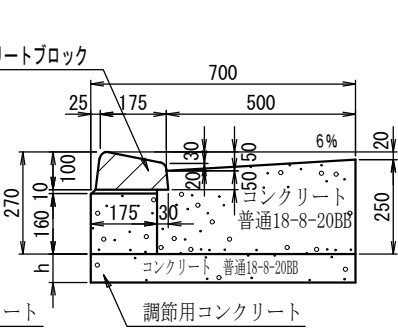
材料表には端末ブロック数量を含む。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

A-A 断 面 図



B-B 断 面 図

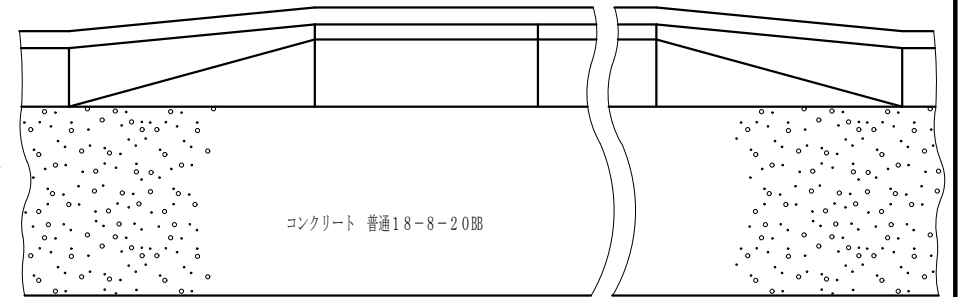
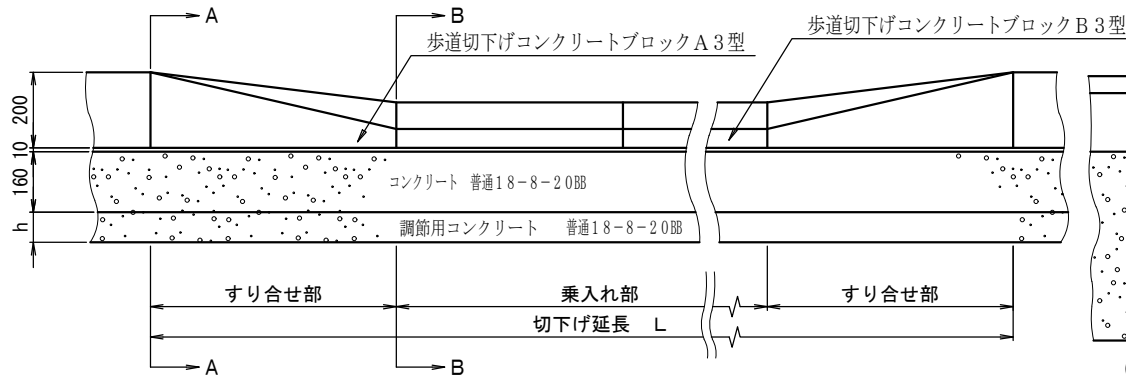


街きょ工(155-1型 車乗入れ部) S=1/20

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工 (車乗入れ部)	155-1型	T _h	2025

正 面 図

平 面 図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

(100箇所当り)

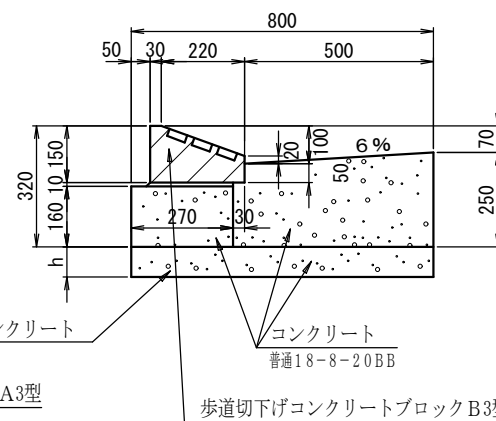
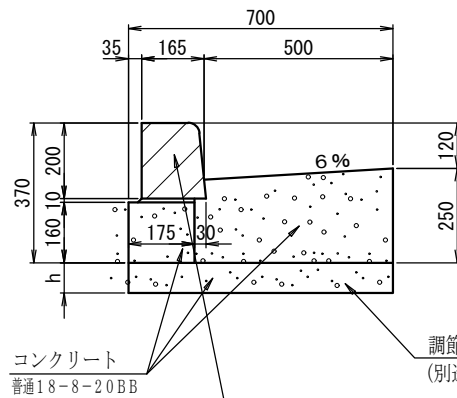
型式	切り下 延 長 T L (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (m ³)	モルタル 1 : 3 (m ³)	型 枠 (m ²)	すり合せ ブロック A3型 (個)	乗入れ ブロック B3型 (個)	収容施設の種別 (参考)
A型	303	49.0	0.6	172.7	200 (44kg/個)	300 (39kg/個)	軽自動車収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	69.0	0.9	241.7	200 (44kg/個)	500 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	88.9	1.2	310.7	200 (44kg/個)	700 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4t トラック)
D型	727	118.9	1.6	414.4	200 (44kg/個)	1,000 (39kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

A-A 断面図

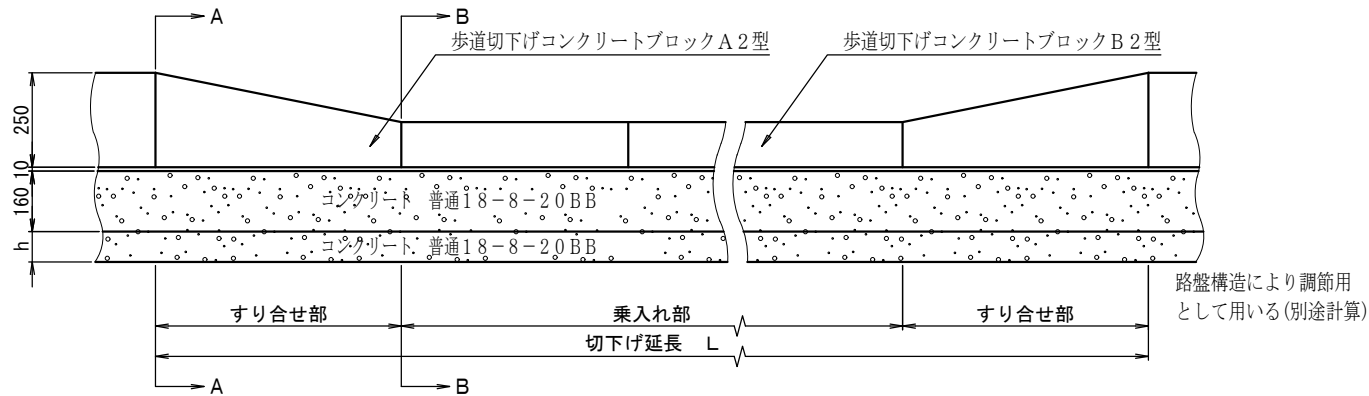
B-B 断面図



街きょ工(205型 車乗入れ部) S=1/20

工 種	種 別	形 状	変 数	作成年度
排 水	街きょ工 (車乗入れ部)	205型	T h	2025

正面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

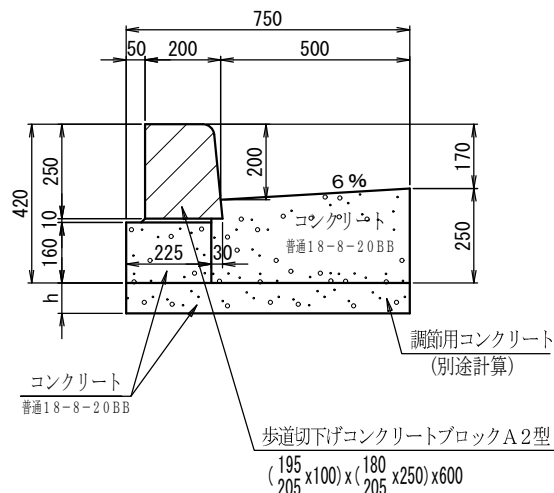
(100箇所当り)

型式	切り下 延 長	コンクリート 普通18-8-20BB	モルタル 1 : 3	型 枠	すり合せ ブロック A 2 型 (個)	乗入れ ブロック B 2 型 (個)	収容施設の種別 (参考)
T	L (cm)	(m ³)	(m ³)	(m ²)			
A型	303	47.8	0.5	172.7	200 (43kg/個)	300 (28kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	66.8	0.8	241.7	200 (43kg/個)	500 (28kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	85.9	1.0	310.7	200 (43kg/個)	700 (28kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	114.6	1.3	414.4	200 (43kg/個)	1,000 (28kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

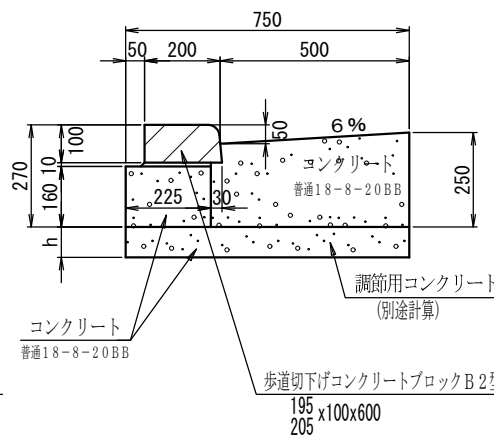
(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

A-A 断面図



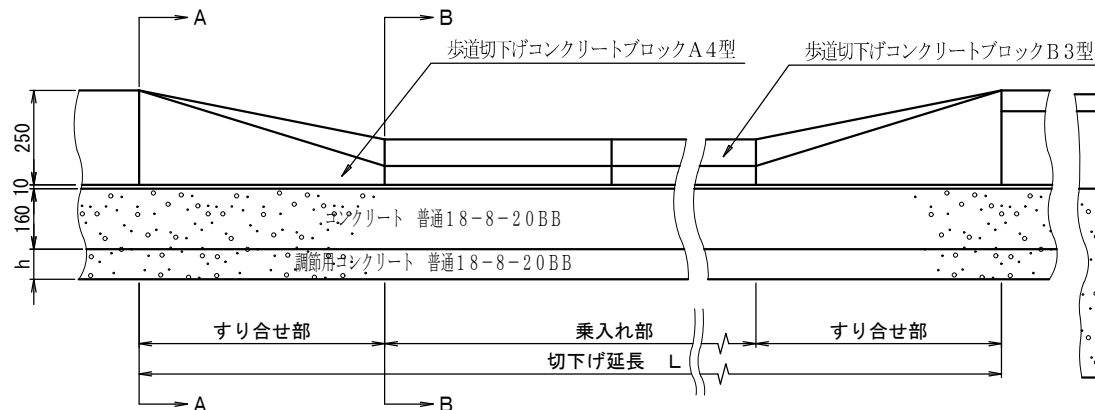
B-B 断面図



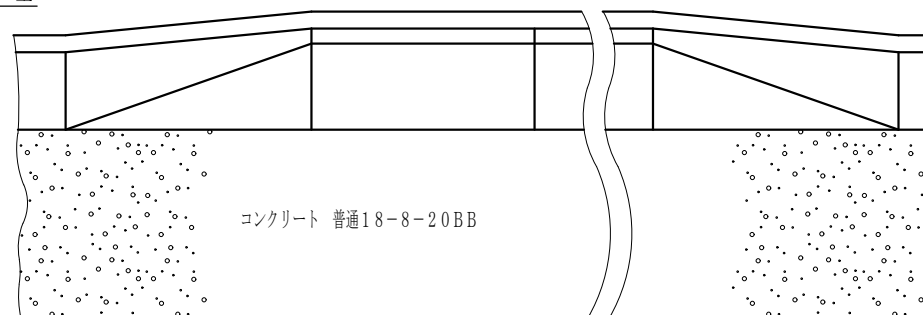
街きょ工(205-1型 車乗入れ部) S=1/20

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工 (車乗入れ部)	205-1型	T h	2025

正面図

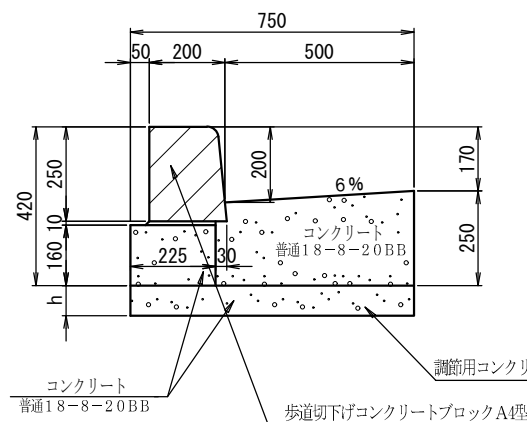


平面図

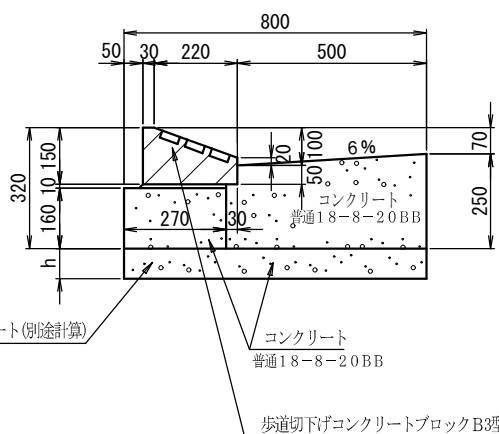


(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

A-A 断面図



B-B 断面図



材 料 表

(100箇所当り)

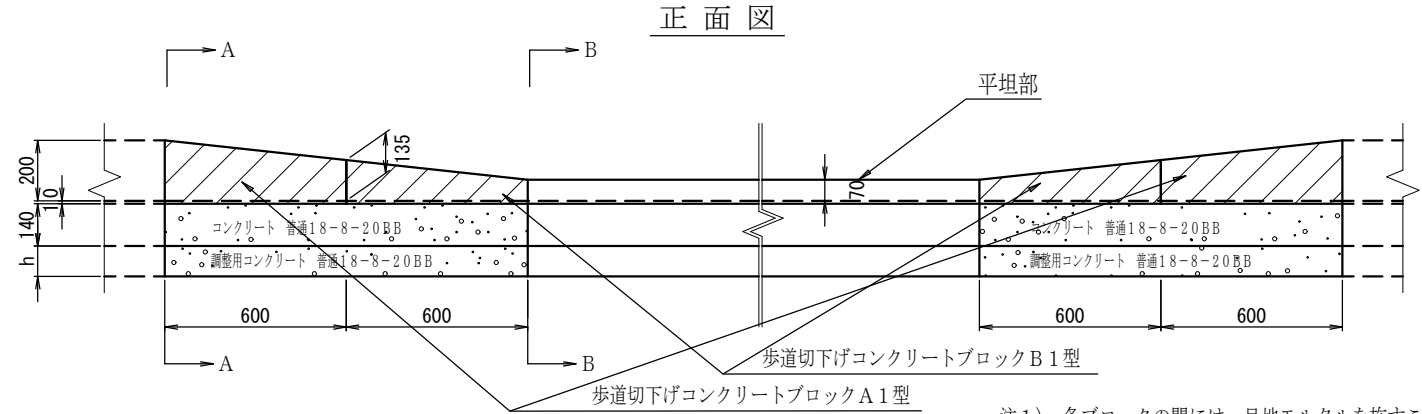
型式	切り下 延 長	コンクリート 普通18-8-20BB	モルタル 1 : 3	型 枠	すり合せ ブロック A 4型 (個)	乗入れ ブロック B 3型 (個)	収容施設の種別 (参考)
T	L (cm)	(m ³)	(m ³)	(m ²)			
A型	303	49.5	0.7	172.7	200 (50kg/個)	300 (39kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	69.5	0.9	241.7	200 (50kg/個)	500 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	89.4	1.2	310.7	200 (50kg/個)	700 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道路 の狭い場合 (例 2t～4t トラック)
D型	727	119.4	1.6	414.4	200 (50kg/個)	1,000 (39kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

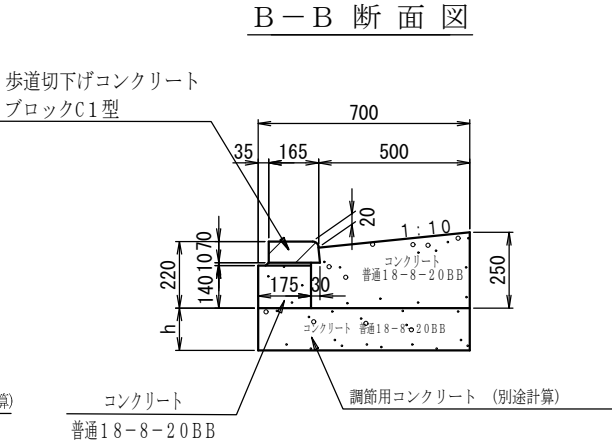
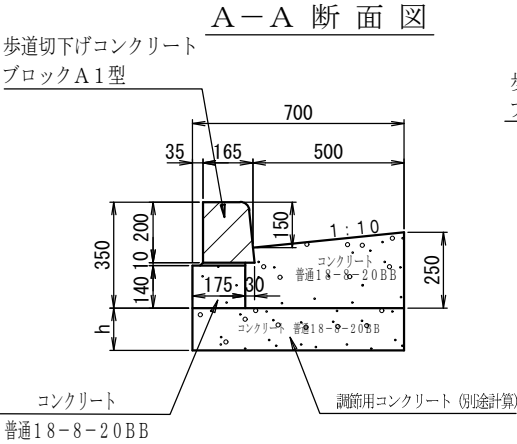
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工	155型 2本すりつけ	h	2025

街きょ工(155型 2本すりつけ) S=1/20
(補修用)



- 注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
歩行者の通行動線方向に5(8)%以下の勾配になるように舗装をすりつける。
- 注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。



材 料 表

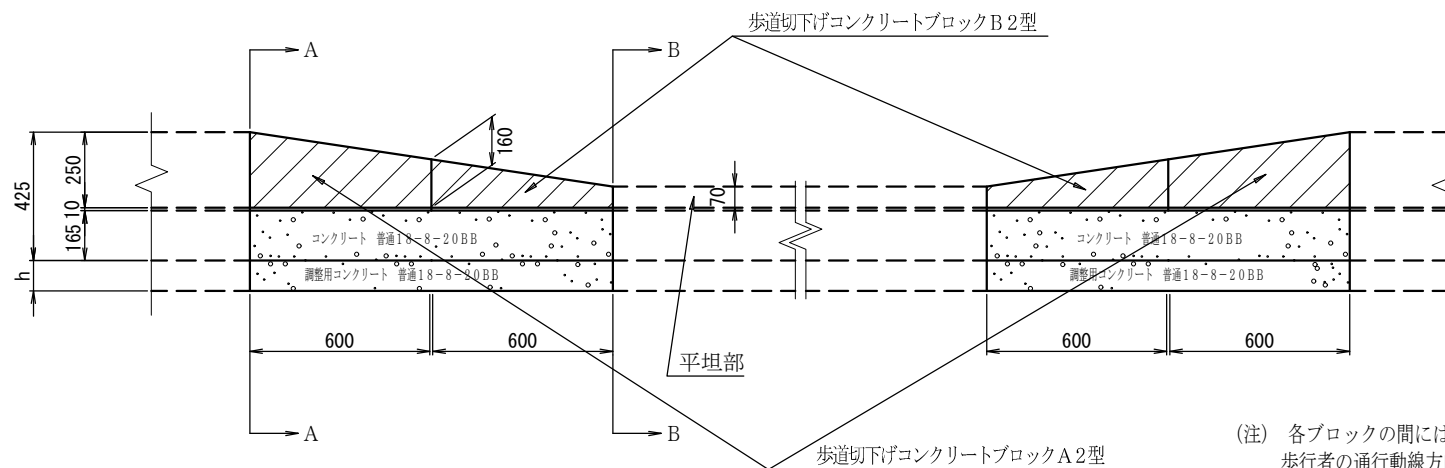
(100箇所当り)

品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	34.1	
コンクリートブロック(A1)	($\frac{150}{170} \times 200$) $\times$ ($\frac{157}{170} \times 135$) $\times$ 600	本	200.0	38 kg/個
〃 (B1)	($\frac{157}{170} \times 135$) $\times$ ($\frac{163}{170} \times 70$) $\times$ 600	〃	200.0	24 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.4	敷モルタル用
型 枠		m ²	128.5	

街きょ工(205型 2本すりつけ) S=1/20
(補修用)

工 種	種 別	形 状	変 数	作成年度
排 水	街きょ工	205型 2本すりつけ	h	2025

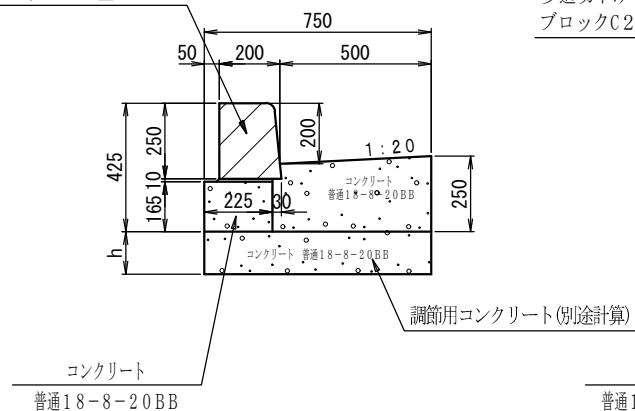
正 面 図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
歩行者の通行動線方向に5(8)%以下の勾配になるように舗装をすりつける。

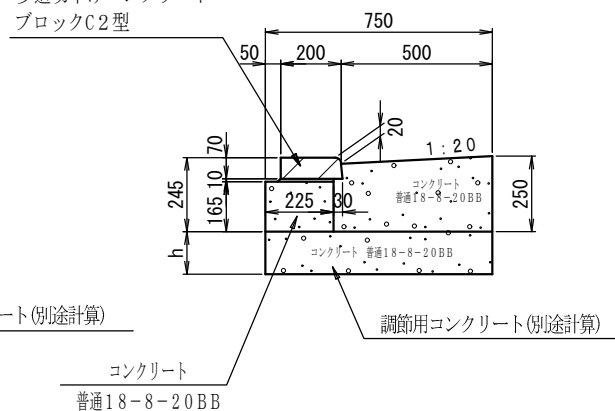
A-A 断 面 図

歩道切下げコンクリート
ブロックA2型



B-B 断 面 図

歩道切下げコンクリート
ブロックC2型



材 料 表

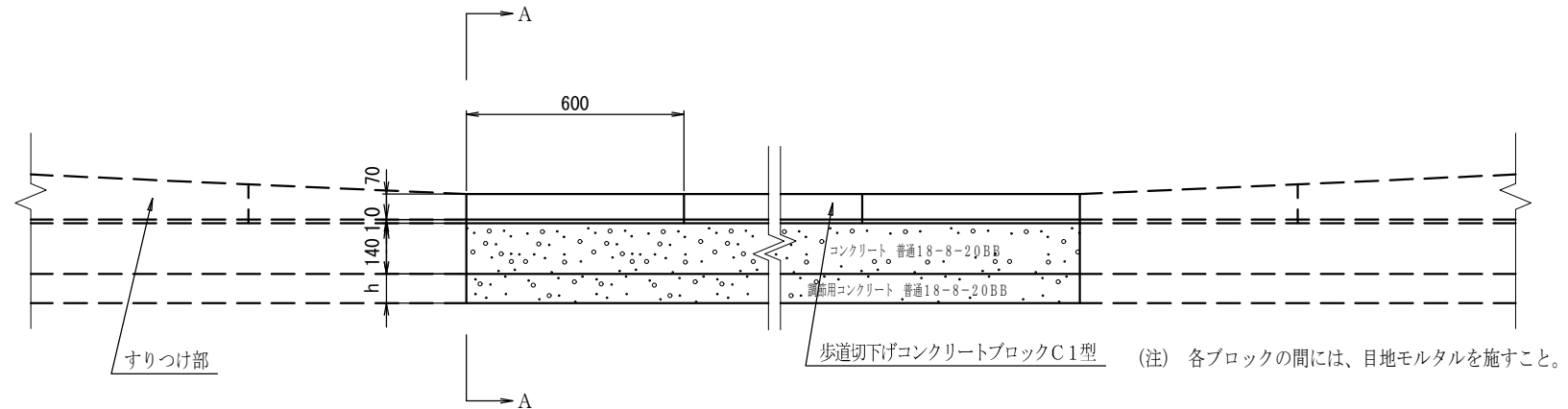
(100箇所当り)

品 名	形状寸法	単位	数量	摘 要
すりつけ ブロック(A2)	$(180 \times 250) \times (\frac{189}{205} \times 160) \times 600$	本	200.0	56 kg/個
すりつけ ブロック(B2)	$(189 \times 160) \times (\frac{198}{205} \times 70) \times 600$	"	200.0	32 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	38.8	
モ ル タ ル	1 : 3	"	0.4	敷モルタル用
型 枠		m ²	140.6	

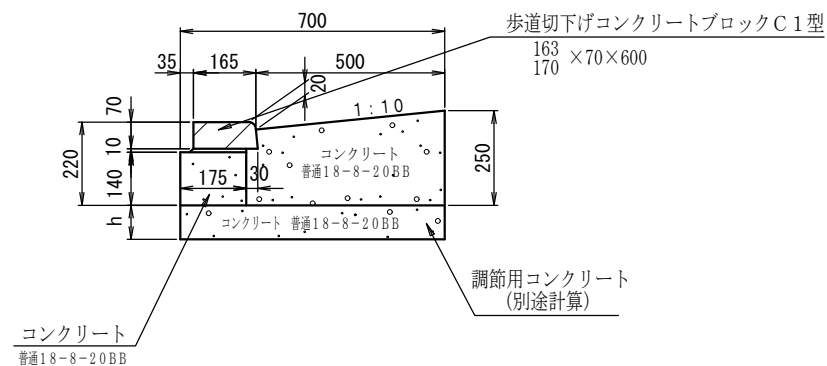
街きょ工(155型及び105型 歩行者横断用平坦部) S=1/20
(補修用)

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工 (歩行者横断用 平坦部)	155型及び 105型	h	2025

正 面 図



A-A 断 面 図



材 料 表

(100m当り)

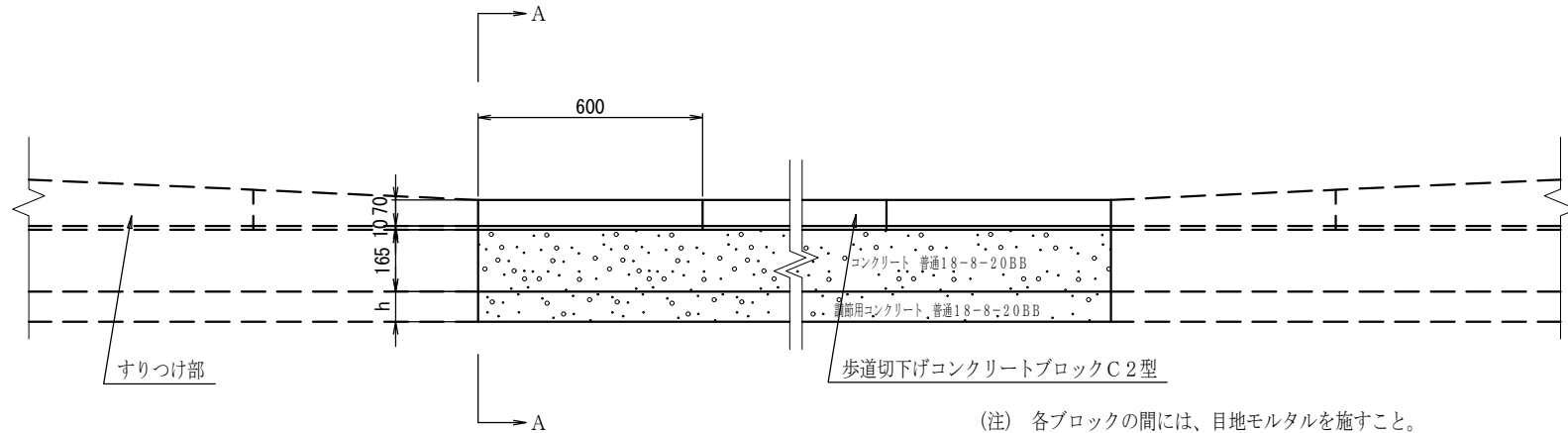
品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
コンクリートブロック(C1)	$\frac{163}{170} \times 70 \times 600$	本	165.0	17 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	14.1	
モ ル タ ル	1 : 3	〃	0.1	敷モルタル用
型 枠		m ²	53.0	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

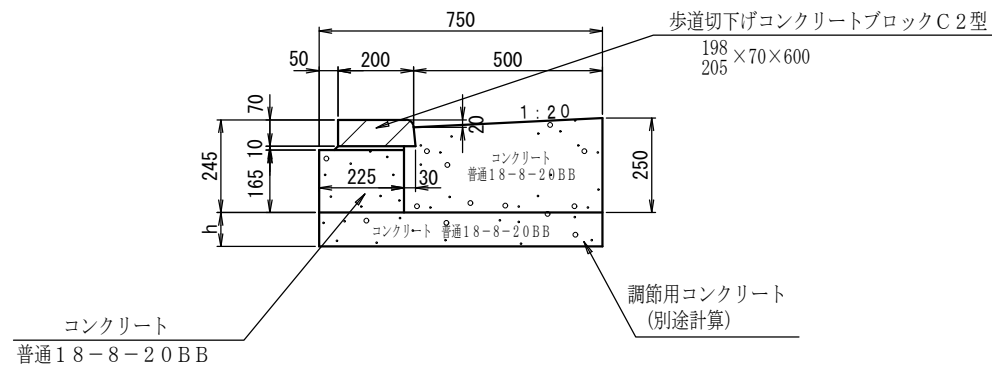
街きょ工(205型 歩行者横断用平坦部) S=1/20
(補修用)

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工 (歩行者横断用 平坦部)	205型	h	2025

正 面 図



A-A 断面図



材 料 表

(100m当り)

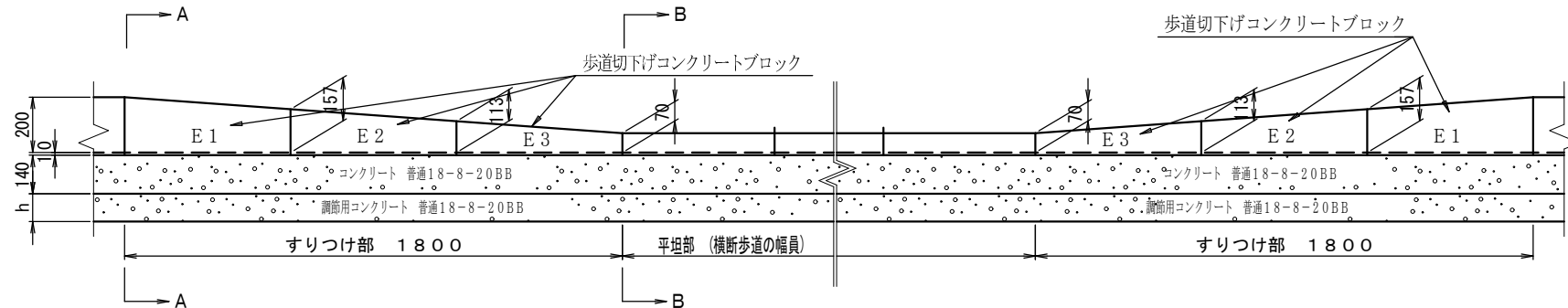
品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
コンクリートブロック(C2)	198 205	本	165.0	20 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	16.5	
モ ル タ ル	1 : 3	〃	0.2	敷モルタル用
型 枠		m ²	58.0	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ工(155型 歩行者横断用平坦部3本すりつけ) $S=1/25$
(補修用)

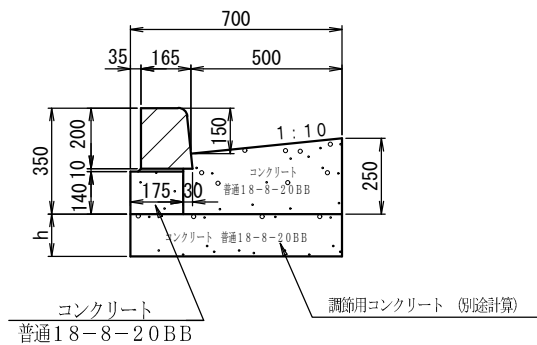
工 種	種 別	形 状	変 数	作成年度
排 水	街きょ工 (歩行者横断用 平坦部)	155型 3本すりつけ	h	2025

正 面 図

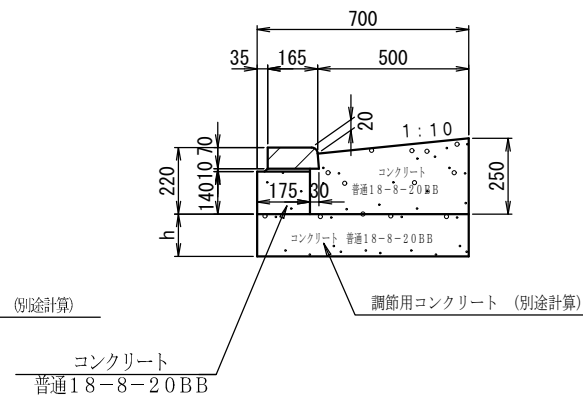


注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
歩行者の通行動線方向に5(8)%以下の勾配になるように舗装をすりつける。

A-A 断面図



B-B 断面図



材 料 表

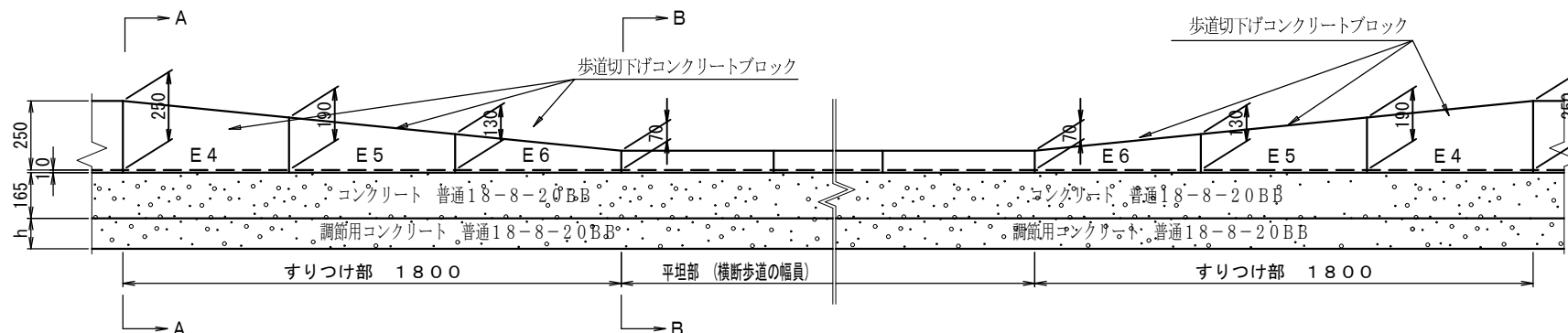
155型		(100箇所当り)		
品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	68.2	
すりつけブロック(E1)	$(\frac{150}{170} \times 200) \times (\frac{154}{170} \times 157) \times 600$	本	200.0	40 kg/個
" (E2)	$(\frac{154}{170} \times 157) \times (\frac{159}{170} \times 113) \times 600$	"	200.0	30 kg/個
" (E3)	$(\frac{159}{170} \times 113) \times (\frac{163}{170} \times 70) \times 600$	"	200.0	21 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.7	
型 枠		m ²	256.5	

(注1) 調節用コンクリートとその型枠は、別途考慮する。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ工(205型 歩行者横断用平坦部3本すりつけ) S=1/25
(補修用)

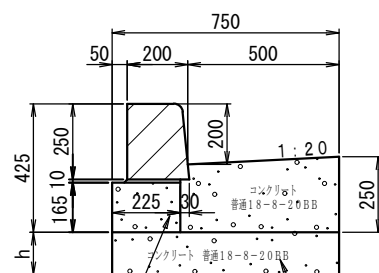
工 種	種 別	形 状	変 数	作成年度
排 水	街きょ工 (歩行者横断用 平坦部)	205型 3本すりつけ	h	2025

正 面 図



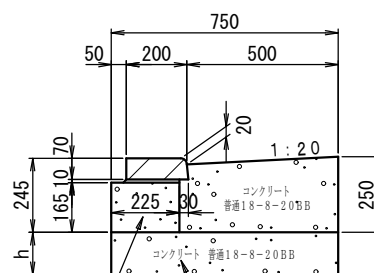
注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
歩行者の通行動線方向に5(8)%以下の勾配になるように舗装をすりつける。

A-A 断 面 図



コンクリート
普通18-8-20BB

B-B 断 面 図



コンクリート
普通18-8-20BB

材 料 表

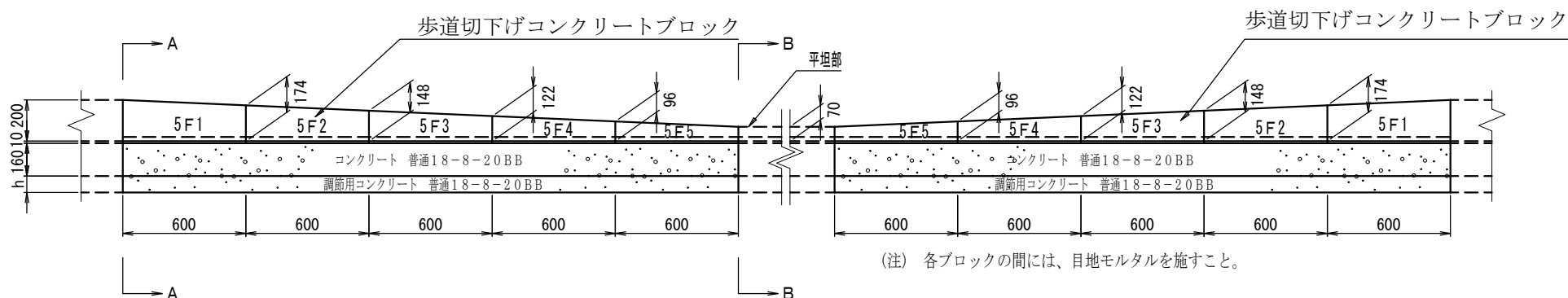
205型 (参考)		(100箇所当り)		
品 名	形状寸法	単位	数 量	備 考
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	58.5	
コンクリートブロック(E4)	(180/205×250)×(186/205×190)×600	本	200.0	60 kg/個
" (E5)	(186/205×190)×(192/205×130)×600	"	200.0	43 kg/個
" (E6)	(192/205×130)×(198/205×70)×600	"	200.0	21 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.8	
型 枠		m ²	280.7	

(注1) 調節用コンクリートとその型枠は、別途考慮する。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ工(155型 歩行者横断用平坦部5本すりつけ) S=1/30

工 種	種 別	形 状	変 数	作成年度
排 水	街きょ工 (歩行者横断用 平坦部)	155型 5本すりつけ	h	2025

正面図

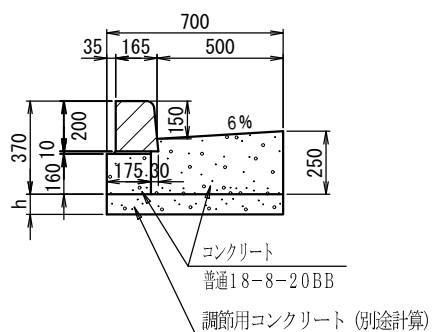


材 料 表

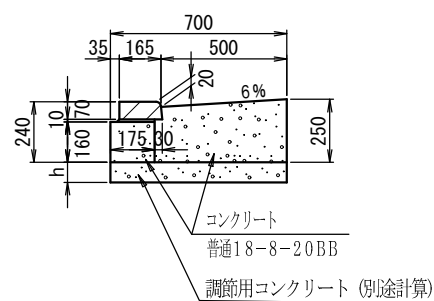
(100箇所当り)

品 名	形状寸法	単位	数量	摘 要
すりつけブロック(5F1)	$(\frac{150}{170} \times 200) \times (\frac{153}{170} \times 174) \times 600$	本	200.0	42kg/個
〃 (5F2)	$(\frac{153}{170} \times 174) \times (\frac{155}{170} \times 148) \times 600$	〃	200.0	37kg/個
〃 (5F3)	$(\frac{155}{170} \times 148) \times (\frac{158}{170} \times 122) \times 600$	〃	200.0	31kg/個
〃 (5F4)	$(\frac{158}{170} \times 122) \times (\frac{160}{170} \times 96) \times 600$	〃	200.0	25kg/個
〃 (5F5)	$(\frac{160}{170} \times 96) \times (\frac{163}{170} \times 70) \times 600$	〃	200.0	19kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	90.7	
モ ル タ ル	1 : 3	〃	0.9	
型 枠		m ²	345.4	

A-A 断面図



B-B 断面図



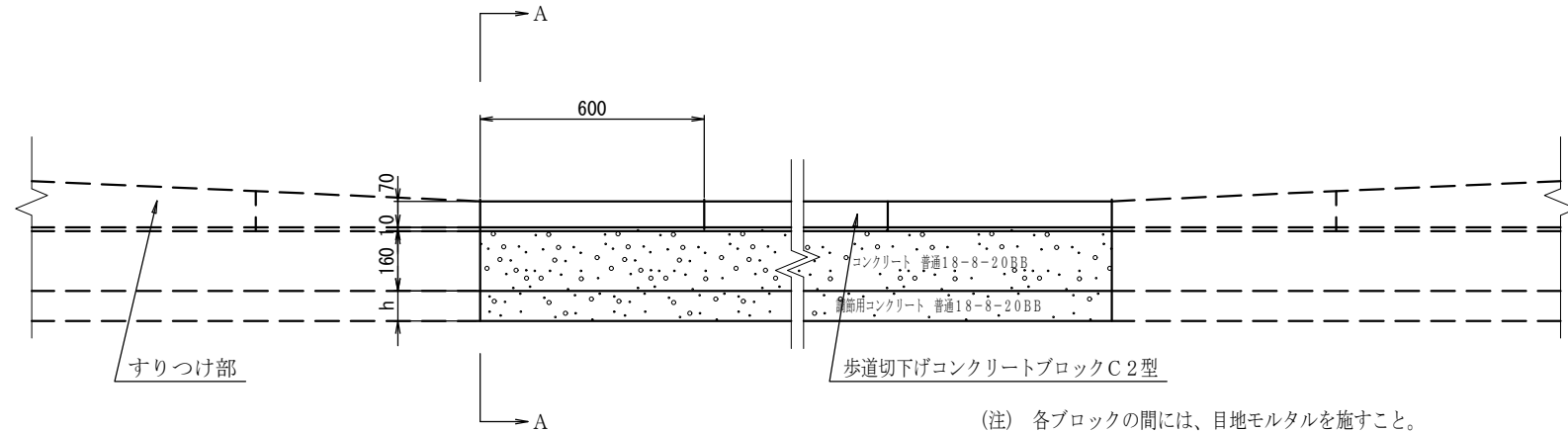
(注1) 本材料表はすりつけ部両側の数量である。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ工(205型 歩行者横断用平坦部) S=1/20

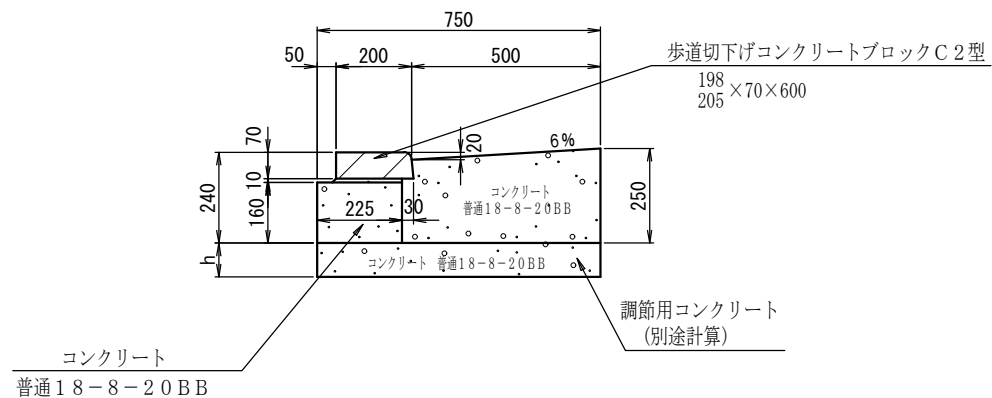
工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ工 (歩行者横断用 平坦部)	205型	h	2025

正面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

A-A 断面図



材 料 表

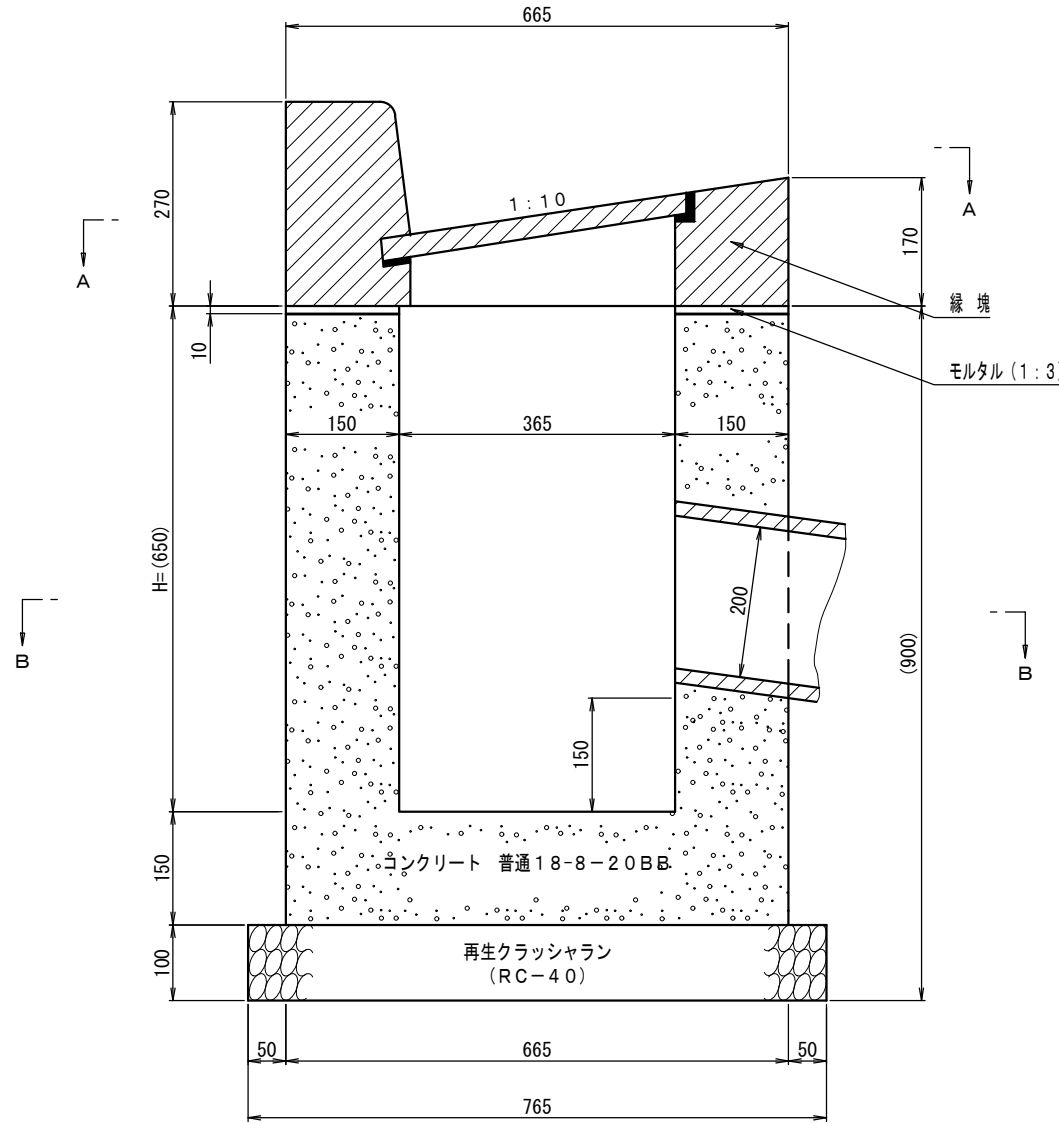
(100m当り)

品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
コンクリートブロックC2	198 205×70×600	本	165.0	20 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	15.8	
モ ル タ ル	1 : 3	〃	0.2	
型 枠		m ²	57.0	

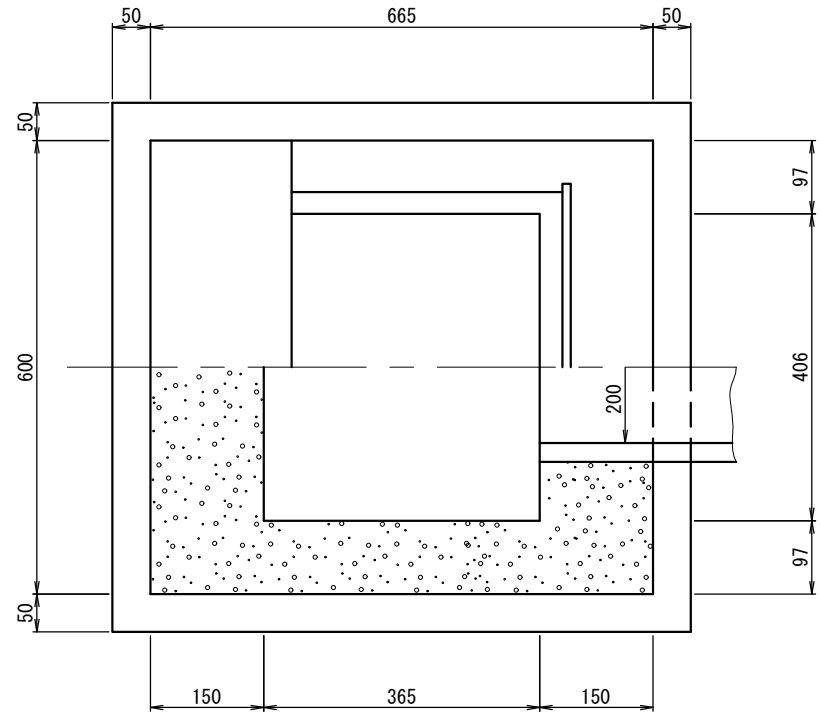
(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ用集水ます工（155型、現場打コンクリート使用）
（補修用）

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ用 集水ます工	155型 現場打コン クリート使用		2025



A-A 断面図



B-B 断面図

材 料 表

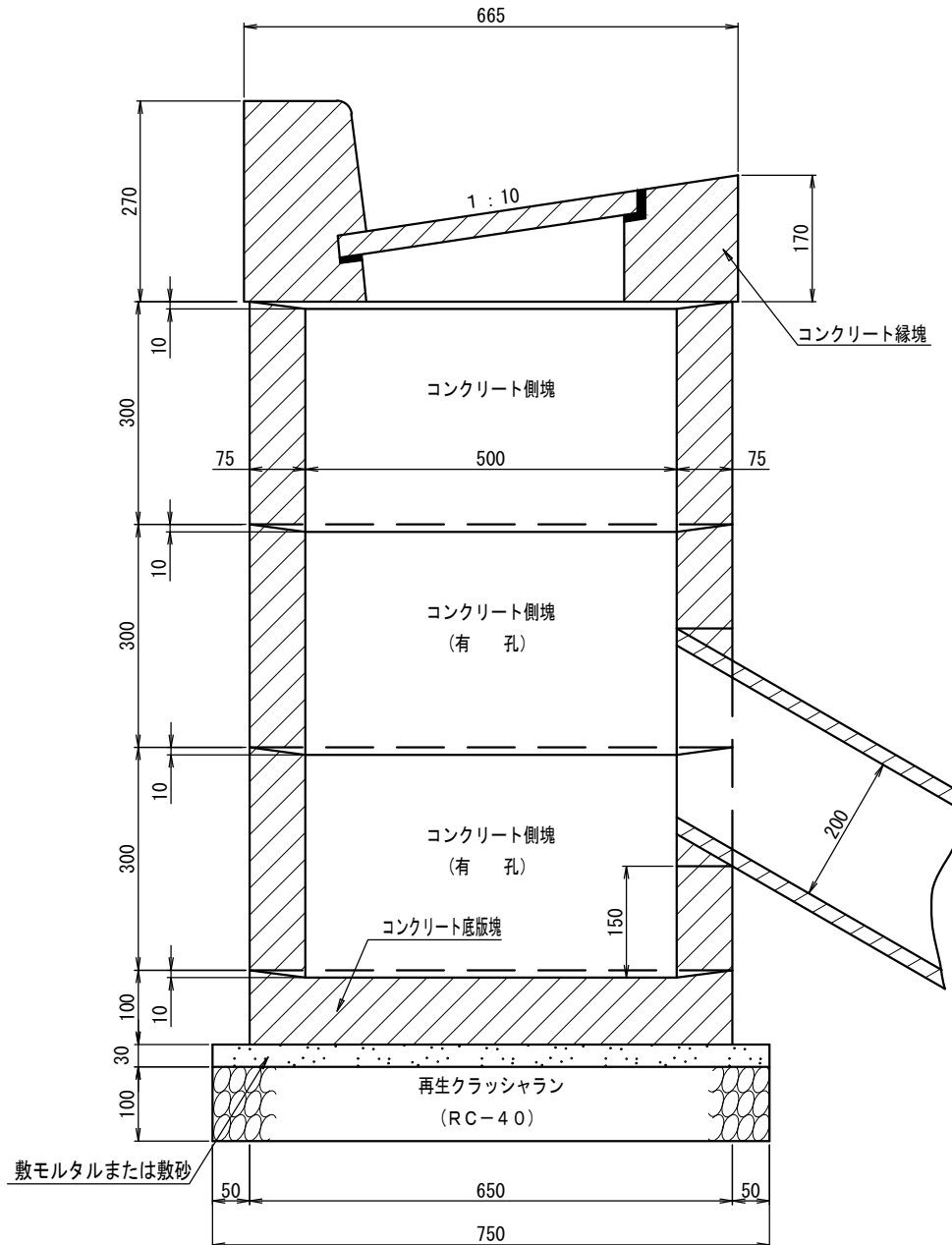
(100箇所当り)

品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
再生クラッシャーラン	RC-40	m ³	5.4	
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	21.3	
縁 塊	ふ た 共	組	100.0	100 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3 (据付用)	m ³	0.3	
型 枠		m ²	298.6	

- 注) ・ () 内は、標準値を示す。
- ・ 流出・排水施設については変更する場合がある。
 - ・ 原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
 - ・ 供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
 - ・ 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ用集水ます工（１５５－Ⅰ型、側塊使用）
（補修用）

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ用 集水ます工	１５５－Ⅰ型 側塊使用		２０２５



材 料 表

(100箇所当り)

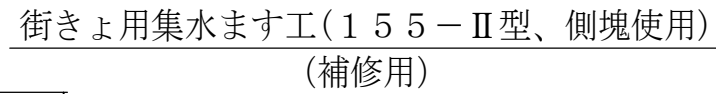
品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	"	100.0	99 kg/個
"	2 号	"	100.0	99 kg/個
"	3 号	"	100.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	100 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.8	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

(注)・流出・排水施設については変更する場合がある。

・原則としてグレーチングふたを使用する。なお

歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。

・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。



材 料 表	
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23
24	24
25	25
26	26
27	27
28	28
29	29
30	30
31	31
32	32
33	33
34	34
35	35
36	36
37	37
38	38
39	39
40	40
41	41
42	42
43	43
44	44
45	45
46	46
47	47
48	48
49	49
50	50
51	51
52	52
53	53
54	54
55	55
56	56
57	57
58	58
59	59
60	60
61	61
62	62
63	63
64	64
65	65
66	66
67	67
68	68
69	69
70	70
71	71
72	72
73	73
74	74
75	75
76	76
77	77
78	78
79	79
80	80
81	81
82	82
83	83
84	84
85	85
86	86
87	87
88	88
89	89
90	90
91	91
92	92
93	93
94	94
95	95
96	96
97	97
98	98
99	99
100	100

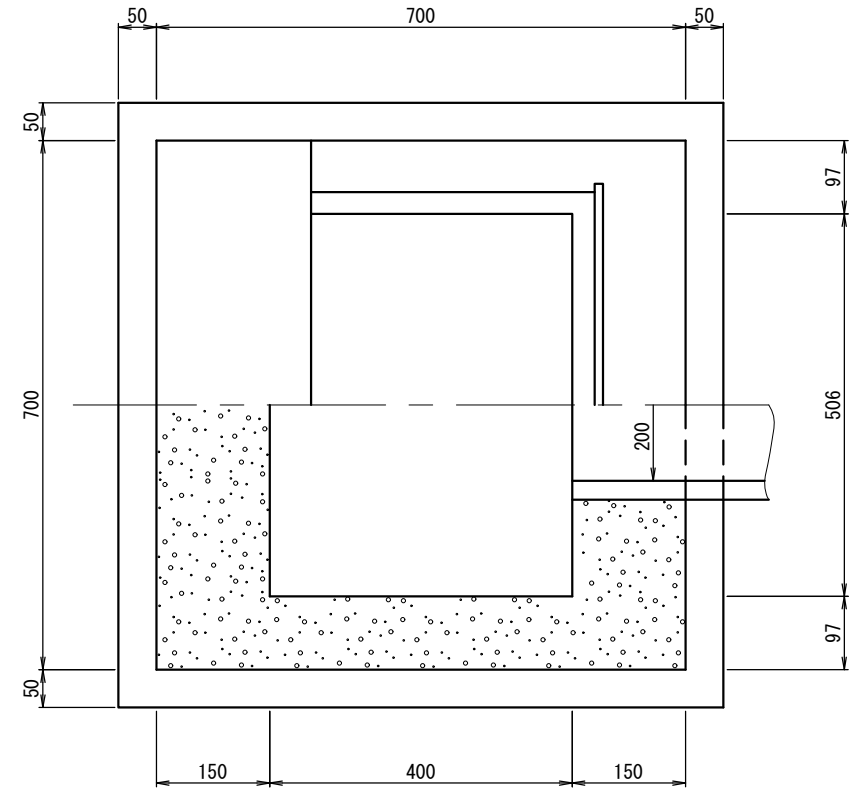
品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	R C - 4 0	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	〃	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	〃	100.0	99 kg/個
〃	2 号	〃	100.0	99 kg/個
〃	3 号	〃	200.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	100 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.9	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

- ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
- ・供用後も、蓋と縁境の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

街きょ用集水ます工（205B、現場打コンクリート使用）

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ用 集水ます工	205B現場 打コンクリ ート使用		2025

A-A 断面図

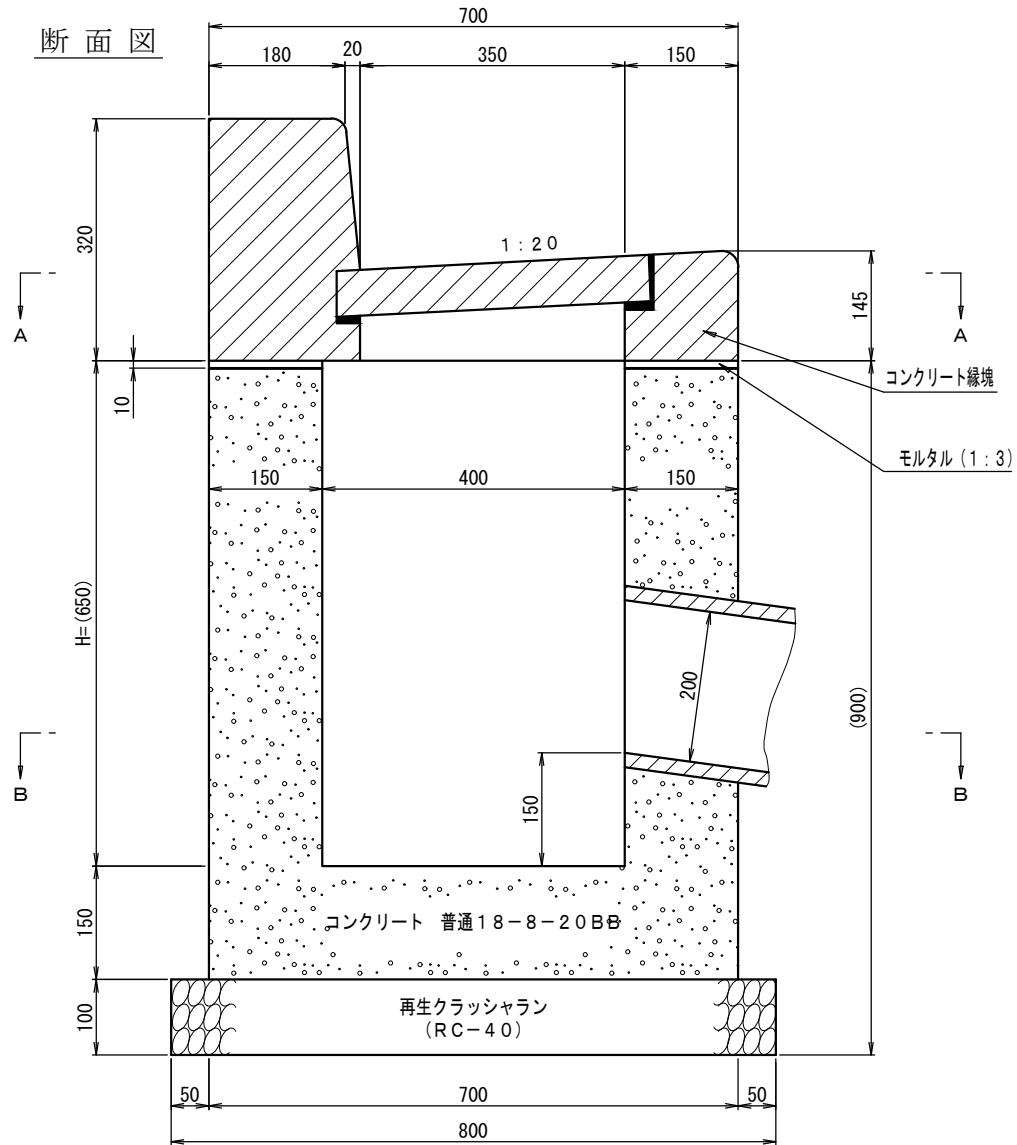


B-B 断面図

材 料 表	
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23
24	24
25	25
26	26
27	27
28	28
29	29
30	30
31	31
32	32
33	33
34	34
35	35
36	36
37	37
38	38
39	39
40	40
41	41
42	42
43	43
44	44
45	45
46	46
47	47
48	48
49	49
50	50
51	51
52	52
53	53
54	54
55	55
56	56
57	57
58	58
59	59
60	60
61	61
62	62
63	63
64	64
65	65
66	66
67	67
68	68
69	69
70	70
71	71
72	72
73	73
74	74
75	75
76	76
77	77
78	78
79	79
80	80
81	81
82	82
83	83
84	84
85	85
86	86
87	87
88	88
89	89
90	90
91	91
92	92
93	93
94	94
95	95
96	96
97	97
98	98
99	99
100	100

(100箇所当り)

品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	6.4	
コンクリート	普通18-8-20BB	m ³	25.0	
緑 塊		組	100.0	150 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3 (据付用)	m ³	0.3	
型 枠		m ²	337.2	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	



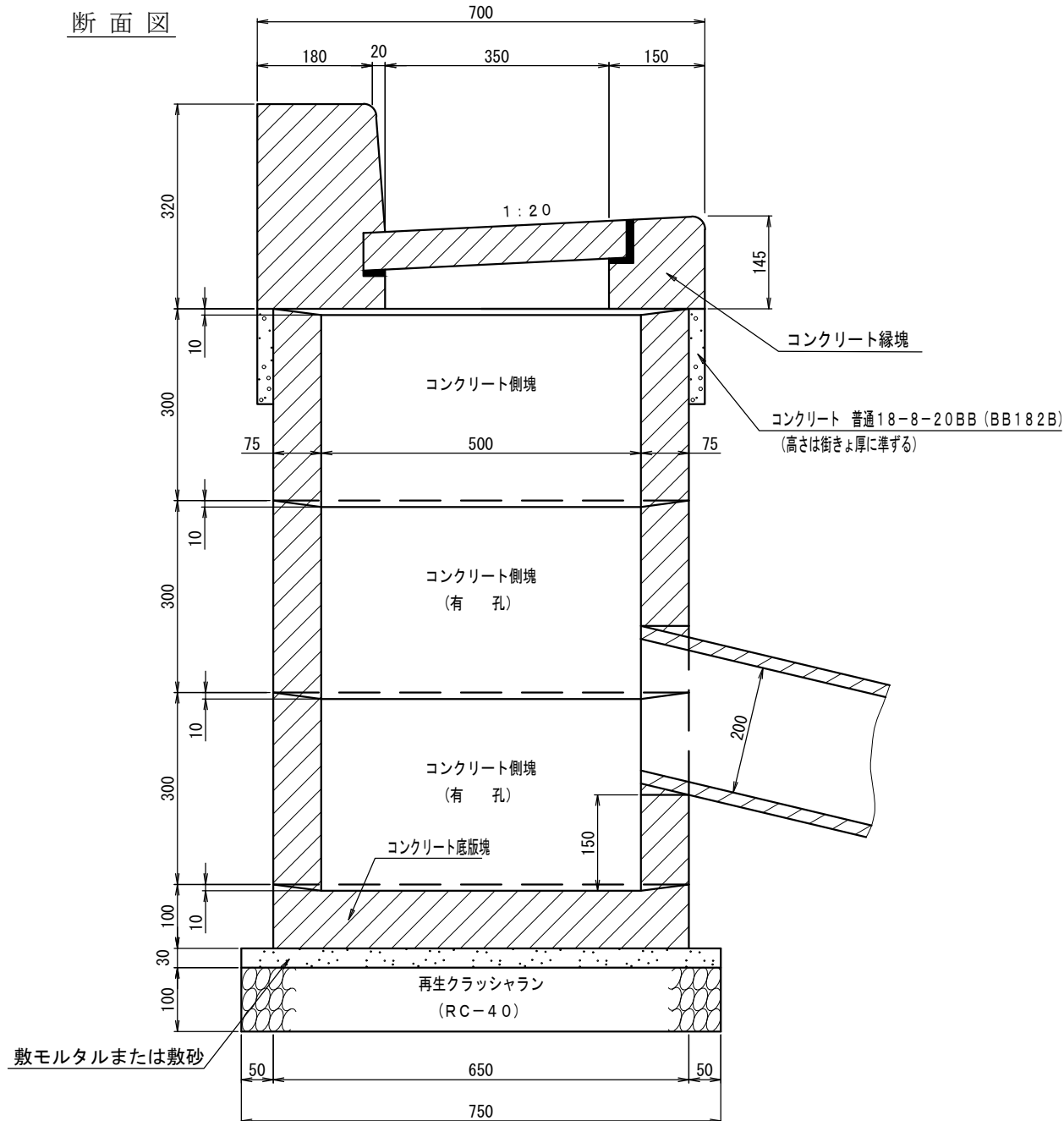
注) () 内は、標準値を示す。

- ・流入・流出施設については変更する場合がある。
- ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお
歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
- ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
- ・調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ用集水ます工（205B-I型、側塊使用）

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ用 集水ます工	205BI型 側塊使用		2025

断面図



材 料 表

(100箇所当り)

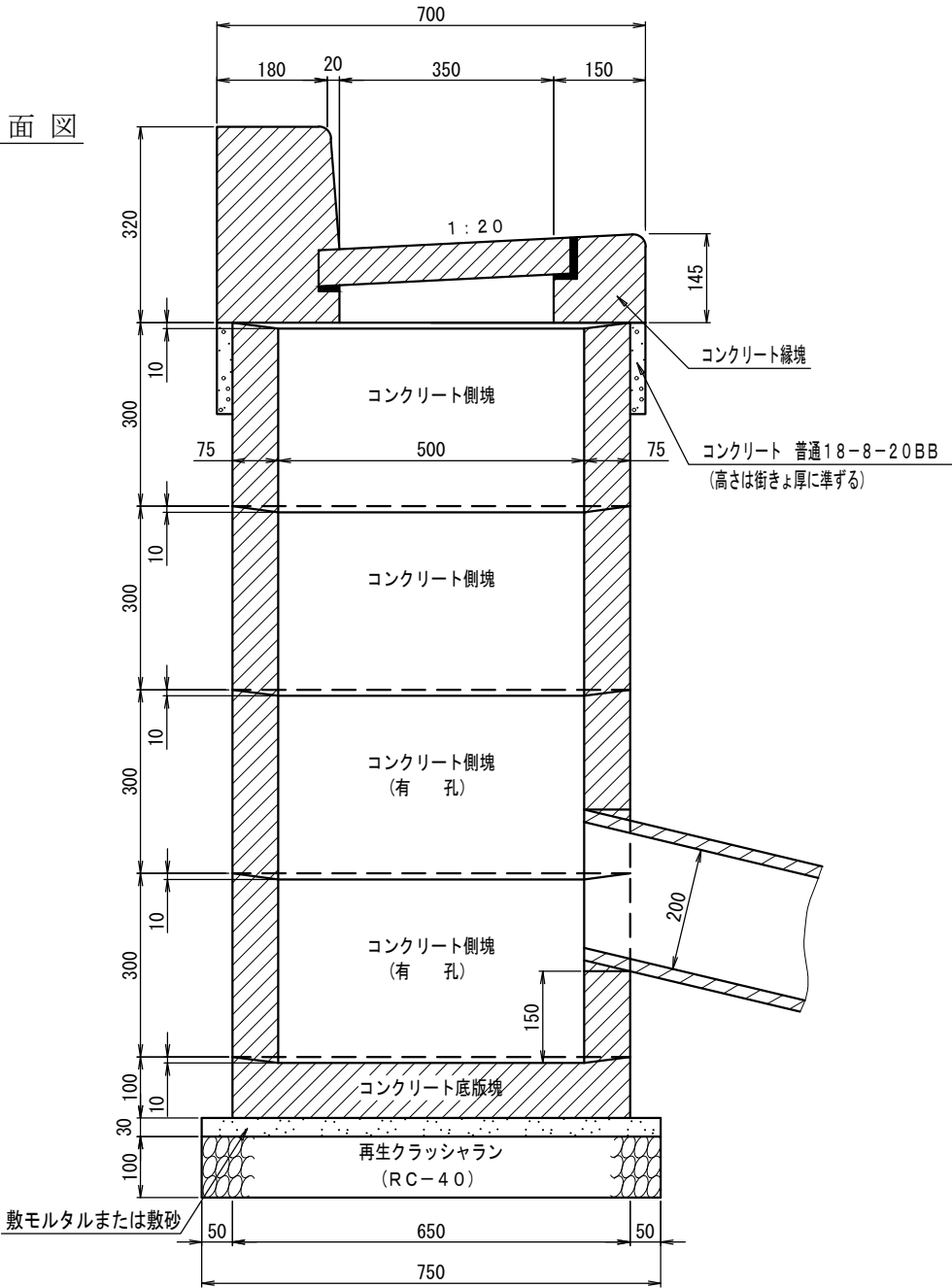
品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	"	100.0	99 kg/個
"	2 号	"	100.0	99 kg/個
"	3 号	"	100.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	150 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.9	
コ ン ク リ ー ト	普通18-8-20BB	"	1.7	
型 枠		m ²	14.7	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

- 注）・流出施設については変更する場合がある。
- 原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
 - 供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
 - 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ用集水ます工（205B-II型、側塊使用）

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ用 集水ます工	205BII型 側塊使用		2025

断面図



材 料 表

(100箇所当り)

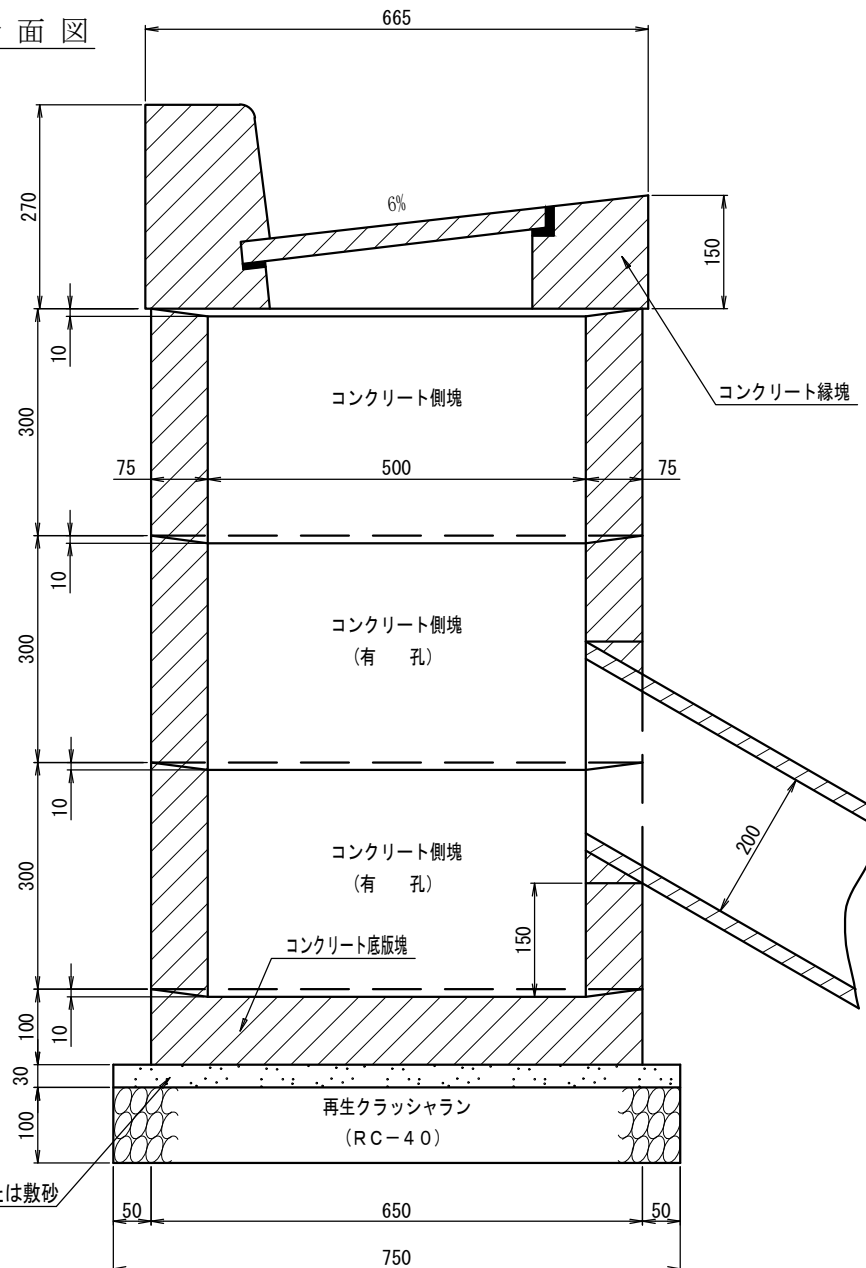
品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	〃	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	〃	100.0	99 kg/個
〃	2 号	〃	100.0	99 kg/個
〃	3 号	〃	200.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	150 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.9	
コ ン ク リ ー ト	普通18-8-20BB	〃	1.7	
型 枠		m ²	14.7	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

(注) ・流出・排水施設については変更する場合がある。
・原則としてグレーチングふたを使用する。なお
歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
・調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ用集水ます工（１５５－Ⅰ型、側塊使用）

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ用 集水ます工	１５５－Ⅰ型 側塊使用		２０２５

断面図



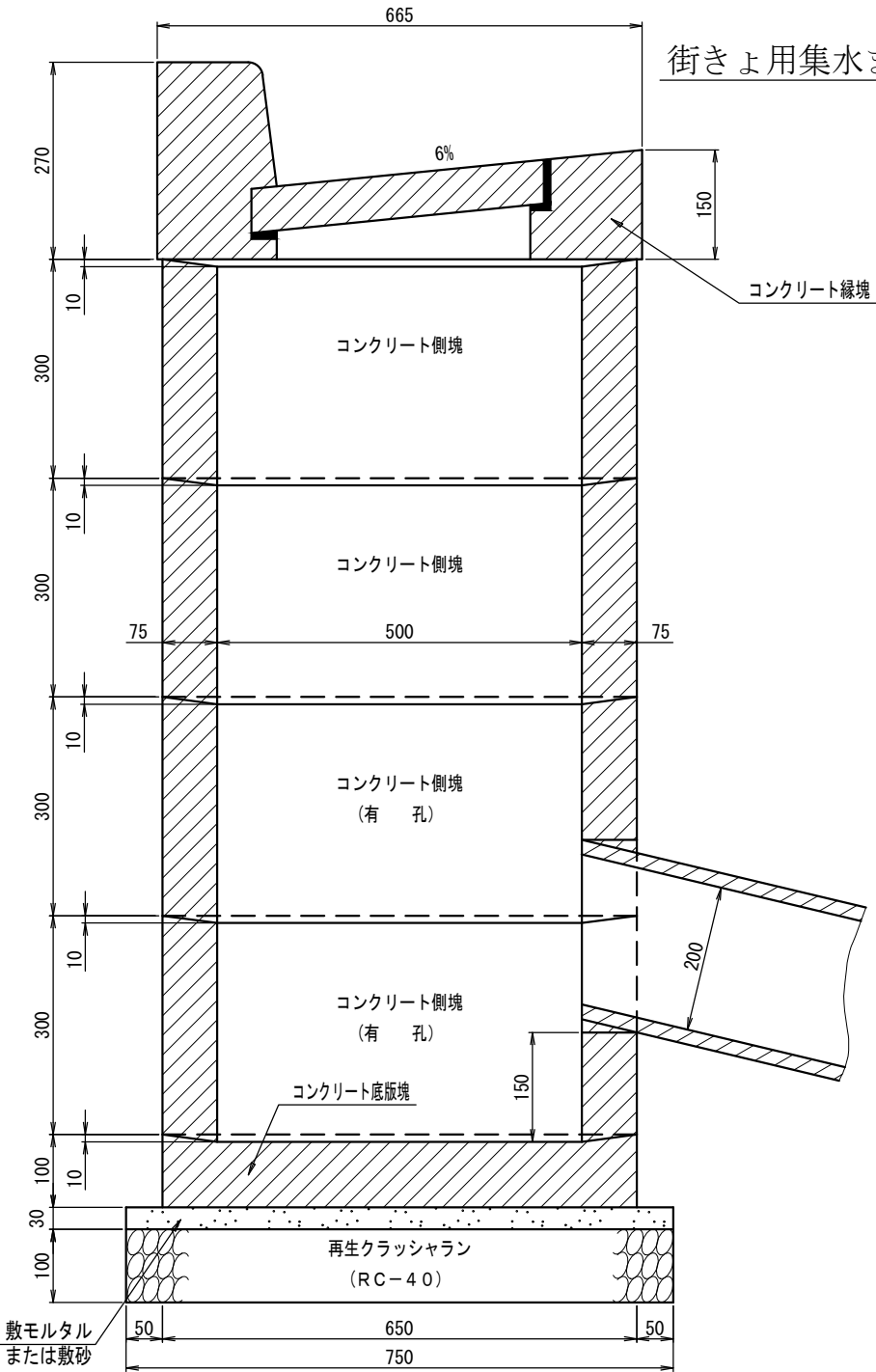
材 料 表

(100箇所当り)

品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	"	100.0	99 kg/個
"	2 号	"	100.0	99 kg/個
"	3 号	"	100.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	100 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.8	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

- (注) ・流出・排水施設については変更する場合がある。
- ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
 - ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

工 種	種 別	形 状	変 数	作 成 年 度
排 水	街きょ用 集水ます工	155-II型 側塊使用		2025



街きょ用集水ます工(155-II型、側塊使用)

材 料 表

(100箇所当り)

品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	〃	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	〃	100.0	99 kg/個
〃	2 号	〃	100.0	99 kg/個
〃	3 号	〃	200.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	100 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.9	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

(注)・流出・排水施設については変更する場合がある。

- ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
- ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。